

**岡崎市の子ども・子育てに関する
アンケート調査報告書
【速報結果（単純集計）報告書】**

**平成 30 年 12 月
岡崎市こども部
こども育成課**

目次

I. 調査の目的	1
II. 調査概要	1
III. 報告書の見方	2
IV. 調査結果概要	3
1. 調査結果（就学前児童保護者、小学生児童保護者）	9
1. お住まいの地域についてうかがいます	10
2. お子さんご家族の状況についてうかがいます	10
3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます	12
4. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます	14
5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます	18
6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます	22
7. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望に ついてうかがいます	23
8. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます (平日の教育・保育を利用する方のみ)	24
9. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について うかがいます	26
10. 放課後の過ごし方（就学前児童の場合は、5歳児のみ）について	28
11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかが います	33
12. 子育て全般についてうかがいます	38
2. 調査結果（園職員）	41
1. あなたご自身についてうかがいます	41
2. 仕事や職場の環境についてうかがいます	42
3. 保護者などの状況についてうかがいます	46
4. ワーク・ライフ・バランスについてうかがいます	47
3. 調査結果（事業所）	48
1. 貴事業所についてうかがいます	49
2. 貴事業所の管理職の状況についてうかがいます	52
3. 貴事業所の退職・離職・再雇用の状況についてうかがいます	54
4. 仕事や職場の環境についてうかがいます	55
5. 子育て支援についてうかがいます	58
6. ワーク・ライフ・バランスの推進についてうかがいます	60

I. 調査の目的

本調査は、市民の皆様の子育てに関する状況や岡崎市の子育て支援サービスに対するご要望・ご意見、保育ニーズ、子育て世帯の生活状況等について把握し、2020年から2024年を期間とする子ども子育て支援事業計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

II. 調査概要

- 調査地域 : 岡崎市全域
- 調査対象者 : 岡崎市内在住の就学前のお子さんをお持ちの世帯・保護者（就学前児童保護者）
岡崎市内在住の小学生のお子さんをお持ちの世帯・保護者（小学生児童保護者）
岡崎市内の保育園・幼稚園の職員
岡崎市内の事業所
- 抽出方法 : 無作為抽出及び悉皆
- 調査期間 : 平成30年10月25日（木）～平成30年11月8日（木）
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収による調査方法

調査票	配布数	回収数 [※]	回収率 [※]
就学前児童保護者	5,000 件	2,160 件 (3,324 件)	43.2% (66.5%)
小学生児童保護者	3,000 件	1,000 件 (1,890 件)	33.3% (63.0%)
保育園・幼稚園職員	896 件	762 件 (768 件)	84.7% (85.7%)
事業所	446 件	156 件 (160 件)	35.0% (35.9%)
合計	9,342 件	4,078 件 (6,142 件)	43.6% (65.7%)

※上記の回収数・回収率は、平成30年11月30日時点の数値です。最終的な数値は（）に記載しています。

Ⅲ. 報告書の見方

報告書の見方は、以下のとおりです。

- ①図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数です。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとします。
- ③集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがあります。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化しています。

IV. 調査結果概要

1. 就学前児童・小学生児童調査結果の概要

① 子どもの育ちをめぐる環境について

- ・ 子育て（教育を含む）を主に行っているのは「父母ともに」が就学前児童、小学生児童で5割弱となっています。就学前児童では「主に母親」と回答する割合が過半数となっています。
- ・ 子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が就学前児童で6割程度、小学生児童で5割強となっており、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」は就学前児童、小学生児童ともに3割程度となっています。
- ・ 小学生児童の子どもをみてもらっている状況については、祖父母等にみてもらっている人で「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した人が6割程度となっています。一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と感じている人は、祖父母等にみてもらっている人で2割強、友人・知人にみてもらっている人で1割強となっています。
- ・ 就学前児童を持つ子育てを通じた悩みでは「子どもの育て方やしつけ方」が5割強と最も多く、次いで「子どもの生活習慣」が4割強となっています。

② 保護者の就労状況について

- ・ 母親は就学前児童で6割強、小学生児童で8割弱が就労しており、平成25年調査時よりも増えている傾向にあります。父親は就学前児童、小学生児童ともに9割程度が就労しています。
- ・ 年齢別にみると0～2歳児では無業の母親が5割程度と多く、3～5歳児では3割弱となります。
- ・ 「フルタイム」では働く母親が0歳児に最も多く4割弱となっています。
- ・ 母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が就学前児童で5割強、小学生児童で6割弱となっており、多くの母親で就労形態としてパート・アルバイトを選択しています。
- ・ 現在、無業の母親の就労意向については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人は就学前児童で2割弱、小学生児童で3割強となっています。また、就労を希望する子どもの年齢は就学前児童で3歳や7歳が多いことから、就園や小学校就学のタイミングで就労を希望しています。希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイトなど」が就学前児童で8割強、小学生児童で9割弱となっています。

③ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

【現在の利用状況】

- ・ 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」については、「利用している」が6割強で、年齢別で見ると0歳で1割半ば、1歳で3割強、2歳で5割強、3歳以上で9割以上が利用しており、平成25年調査時よりもやや増加傾向にあります。
- ・ 利用している教育・保育の事業は、「認可保育所」が5割程度、「幼稚園」4割弱となってい

ます。

- ・ 年齢別でみると0・1歳児は「認可保育所」が8割弱、2歳児は「認可保育所」が6割弱であり、3～5歳児は「幼稚園」と「認可保育所」がそれぞれ5割弱となっています。
- ・ 母親の就労形態別にみると「フルタイム」が「認可保育所」を6割強利用しており、「パートタイム、アルバイトなど」が「認可保育所」を4割強、「幼稚園」を3割程度利用しています。

【利用したい事業（希望）】

- ・ 定期的に利用したいと考える事業については、「認可保育所」を5割強、「幼稚園」を5割弱となっています。
- ・ 母親の就労形態別にみると「フルタイム」が「認可保育所」7割強、「パートタイム、アルバイトなど」が「認可保育所」を5割強が希望しています。「無業」では「幼稚園」8割強、「幼稚園の預かり保育」を3割強が希望しています。
- ・ 「幼稚園」と各種保育事業の両方を利用したいと回答した方のうち、幼稚園の預かり保育の利用希望を強く望む割合は「フルタイム」で5割、「パートタイム、アルバイトなど」で5割強となっています。就労時間が短く幼稚園の預かり保育時間で対応できる方は、希望者が増える可能性があります。

④ 地域の子育て支援事業の利用状況について

- ・ 地域子育て支援拠点事業の利用については、「利用していない」が7割弱となっています。今後の利用希望については、「利用していないが、今後利用したい」「今後利用日数を増やしたい」を合計すると3割弱となります。

⑤ 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

- ・ 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、利用したいとする人は、土曜日で3割弱、日曜日・祝日で2割弱となっています。日曜日・祝日は、土曜日に比べて利用意向が低くなっています。
- ・ また、幼稚園を利用している人において、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、休みの期間中に利用したいとする人は、7割弱となっています。
- ・ 平成25年調査時よりも休暇時の利用希望が増えている傾向にあります。

⑥ 病気の際の対応について

- ・ 病気やケガで通常の事業が利用できなかったことや学校を休んだことがあるかについては、「あった」が就学前児童で7割半ば、小学生児童が7割弱となっており、行った対処方法としては「母親が休んだ」が就学前児童で7割弱、小学生児童で4割弱となっています。
- ・ 病児・病後児のための保育施設などを利用したいかについてみると、「利用したいとは思わない」が就学前児童で7割弱、小学生児童で9割弱となっています。
- ・ また、就学前児童で病児・病後児保育施設を利用したいと回答した方で、希望する施設の条件については、「利用手続きの手間や時間を要しないこと」が最も多く8割強、次いで「自宅の近い場所に設置されていること」が8割弱となっています。

- ・ 病児・病後児保育施設の利用料金は「1,000円～2,000円未満」が最も多く4割強、「1,000円未満」が3割強となっています。

⑦ 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

- ・ 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業は、就学前児童、小学生児童ともに「利用していない」が9割弱である。
- ・ 不定期の教育・保育事業について、今後の利用希望として就学前児童で4割弱、小学生児童で1割弱が「利用したい」となっています。
- ・ 利用目的としては、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」や「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」の割合が就学前児童で6割弱となっており、小学生児童を持つ保護者より高くなっています。
- ・ 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらうことの有無について、「あった」が就学前児童1割強、小学生児童で1割弱となっています。
- ・ 「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が就学前児童で8割弱、小学生児童で4割強となっています。

⑧ 放課後の過ごし方について

- ・ 小学生児童の放課後（平日の小学校終了後）の活動では、「自宅」が5割弱、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が3割強となっています。「放課後児童クラブ」「学区こどもの家」の利用者は1割弱となっています。
- ・ 5歳児の小学校就学後の希望としては、「自宅」が5割強、「放課後児童クラブ」3割弱、「学区こどもの家」2割弱となっています。
- ・ 小学生児童の低学年のうちの希望として、「放課後児童クラブ」、「学区こどもの家」がいずれも1割弱であり、高学年ではわずかに減少しています。
- ・ 現在「放課後児童クラブ」を利用している方について、「放課後児童クラブ」の利用希望は低学年では6割半ば、高学年では4割弱となっています。
- ・ 「学区こどもの家」を利用している方について、「学区こどもの家」の利用希望は低学年では5割、高学年では3割となっています。現在「学区こどもの家」を利用している方で、「放課後児童クラブ」を希望する方はほとんどいないことがわかります。
- ・ 小学生の子どもが家で1人又はきょうだいだけで過ごすことに不安を感じるかについて、小学生児童保護者の7割半ばが「不安を感じる」となっています。
- ・ 小学生児童の土曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について、土曜に「利用する必要はない」が8割、祝日に「利用する必要はない」が8割弱となっています。一方で、長期休暇（夏休み・冬休みなど）時の放課後児童クラブの利用希望については、「全学年（1～6年生）利用したい」が2割強となっています。

【放課後児童クラブについて】

- ・ 放課後児童クラブを利用する理由については、「安心して預けられるから」「家で子どもだけにできないから」が8割強となっています。
- ・ 他の学区の放課後児童クラブを利用したいと思うかについては、「近隣学区であれば利用したい」が平日の場合は4割弱であり、土曜・祝日・長期休暇の場合は5割強となっています。土曜・祝日・長期休暇の「他の学区ならば利用しない」割合が4割弱と平日に比べ少ない傾向にあります。土曜・祝日・長期休暇の場合は保護者が送迎することもあり、他の学区であっても利用したい意向がうかがえます。

【学区こどもの家について】

- ・ 学区こどもの家を利用する理由については、「無料で利用できるから」が6割弱、「友だちが利用しているから」が5割強となっており、「本当は児童クラブを利用したいが、学区内に放課後児童クラブがないから」「本当は児童クラブを利用したいが、定員超過で利用できなかったから」の理由は1割に満たない。
- ・ 「空調設備がほしい」が2割強、「現状のままで満足」が2割、「学校から直接こどもの家へ下校したい」が2割弱となっています。

⑨ 育児休業など職場の両立支援制度について

- ・ 育児休業の取得状況としては、「取得した（取得中である）」が母親で3割強、父親はごく僅かとなっています。平成25年調査時に比べ、母親については1割の増加、父親についても微増傾向にあります。
- ・ 取得していない理由については、母親の「子育てや家事に専念するため退職した」が5割弱と最も多く、父親の「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえる」が4割弱となっています。一方で、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」とする回答も3割強となっており、男性の育児休業の取得が進むよう、企業等への働きかけが求められます。
- ・ 育児休業取得後の職場復帰についてみると、母親が7割弱、父親が9割弱職場に復帰しています。
- ・ 職場復帰のタイミングについては、母親が「年度初めに合わせた」が5割強である一方、父親は「それ以外だった」が9割となっています。
- ・ 早く復帰した母親の理由としては、「希望する保育所に入るため」に復帰した人も4割となっています。一方で、希望の時期に職場復帰しなかった母親の理由では、「希望する保育所に入れなかったため」とする回答が5割弱となっています。保育所へ入園できるかどうか、就労に大きく左右することが伺えます。
- ・ お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が9割強となっています。

⑩ 子育て全般について

- ・ 岡崎市における満足度（満足・まあ満足の合計割合）については、就学前児童、小学生児童ともに「公園など、身近な子どもの遊び場」が3割を超えています。一方で「妊娠・出産・育児期の健康診断」や「学校などでの健康診断」が1割未満、「身近で安心な小児医療サービス」が1割強と満足度が低い傾向にあります。
- ・ 子どもを安心して産み育てられる環境のために市に期待する施策についてみると、「子育てにかかる経済的な負担の援助」が就学前児童、小学生児童で6割以上と最も多く、次いで「全天候型の遊び場の整備など子どもの遊び場の充実」、「夜間や休日における小児科や医療体制の整備」が5割を超えています。

2. 保育園・幼稚園職員調査結果の概要

① 幼稚園教諭免許・保育士資格について

- ・ 「両方保有している」が9割強となっている。

② 仕事や職場の環境について

- ・ 仕事にやりがいや充実感を持っている職員は5割強となっています。
- ・ 「賃金」「労働時間・休みなどの勤務条件」について満足度は高く、「職場の人間関係・コミュニケーション」の満足度が低い傾向にあります。
- ・ 現在の仕事量についてみると、「どちらかといえば多いと思う」が4割弱となっています。
- ・ 保育園で勤務負担が「増している」が4割強であり、負担が増した理由として「保育士・教諭などの少なさ」6割弱、「特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加」4割半ばとなっています。平成25年調査時では勤務負担が「増している」が5割強であったことから負担感が減少傾向にあります。
- ・ 今の職場・施設について、改善が必要だと思う箇所について、「教材の不足」や「教室・保育室やほふく室の改修」が3割強と多くなっています。

③ 職員からみた保護者や子どもに関する問題について

- ・ 日頃から子どもやその保護者と関わっている職員からみて、特に問題と思うことでは、「注意が続かなかつたり、落ち着きがなかつたりする子どもがいること」が6割、「子どもが基本的な生活習慣を身につけていないまま入園してくること」が5割強となっています。一方で「子どもの貧困の問題」や「虐待・ネグレクトの疑いのあるケース」はわずかとなっています。

④ 職員のワーク・ライフ・バランスについて

- ・ 自分の仕事と生活のバランスについて、「とれている」「まあまあとれている」割合は6割強となっています。
- ・ 仕事と生活の両方が充実しているかについては、「充実している」「まあ充実している」が7

割弱となっています。

- ・ 仕事と生活は互いに良い影響を及ぼしあっているかについては、「そう思う」「まあまあそう思う」が6割弱となっています。

3. 事業所調査結果の概要

① 管理職の状況について

- ・ ポジティブ・アクションを「知っていて、実際に取り組んでいる」割合は、2割弱となっています。
- ・ 女性管理職の登用が進まない理由では、「役職に就く前に退職する女性が多いから」が3割半ば、「女性自身が、管理職になることを希望しないから」3割強といった本人が望んでいないといった理由が見受けられます。また、「出勤や転勤など時間外労働が多く、家庭を持つ女性には困難だから」が3割強となっています。
- ・ キャリアブランクのある人材の雇用について、「キャリアブランクのある人でも積極的に採用している」が2割であり、「キャリアブランクに関係なく、本人の能力に応じた採用を行っている」が5割となっています。

② 子育てのしやすい仕事や職場の環境について

- ・ 企業の子育て支援制度についてみると、「家族手当の支給」「出産・入学などの祝い金」や、「短時間勤務制度などの実施」をはじめとする各種勤務条件の免除は4割強の事業所で取り組まれています。
- ・ 各種勤務条件のうち「転勤の免除」を実施しているのが3割弱と低く、女性管理職の登用が進まない理由でも挙げられている出勤や転勤など時間外労働が多いことにつながっている。

③ 子育て支援について

- ・ 男性が育児休業や育児休暇を取得することについて、「男性も積極的に取得すべき」が3割強であり、「男性は、できるだけ取得しないでほしい」が3割弱と平成25年調査時に比べ、1割ほど減少傾向にあります。
- ・ 育児・介護休業制度を定着させるために必要こととして、「休業中の代替要員の確保」が5割半ば、「制度を利用しやすい雰囲気づくり」が4割強となっています。

④ ワーク・ライフ・バランスについて

- ・ 事業所のワーク・ライフ・バランスの推進について、「必要と思うが、現実的に難しい」が4割弱となっています。「必要であり、企業としても推進している」のは2割弱に留まっています。
- ・ 仕事と家庭の両立に向けて、「保育所、放課後児童クラブなどの保育環境を整備する」が6割弱、「仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所などに対する、国や自治体が行う支援策を充実させる」が5割弱、自治体が重点をおいて取り組むべきこととして、求められています。

1. 調査結果（就学前児童保護者、小学生児童保護者）

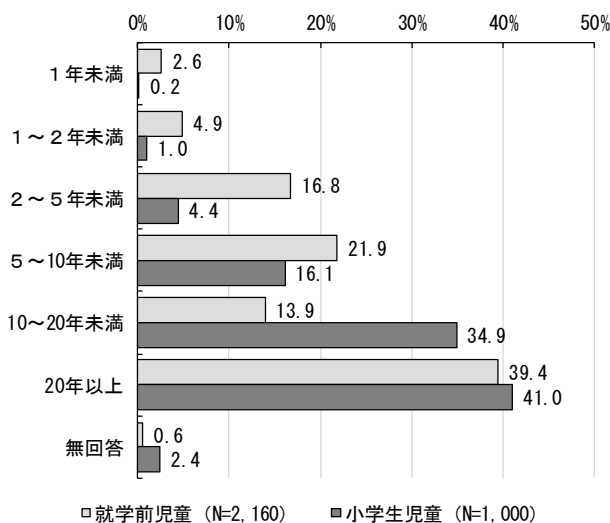
1. お住まいの地域についてうかがいます

(1) お住まいの地域の小学校区名を記入してください。

集計中

(2) 岡崎市に住んで何年になりますか。〈単数回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問2)

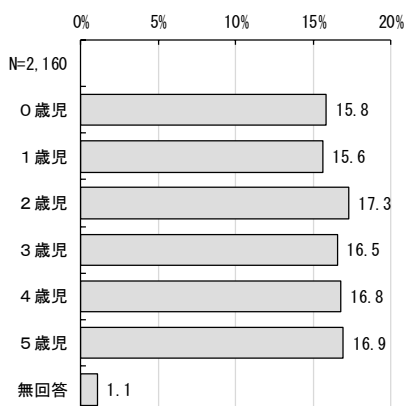


2. お子さんのご家族の状況についてうかがいます

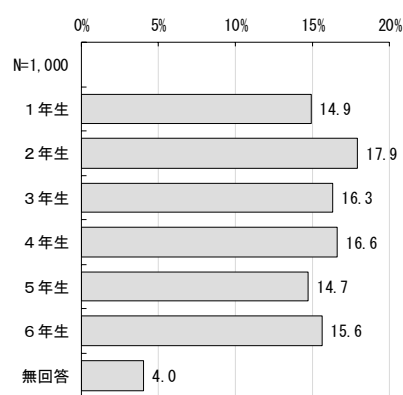
(3) 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。〈数量回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問2)

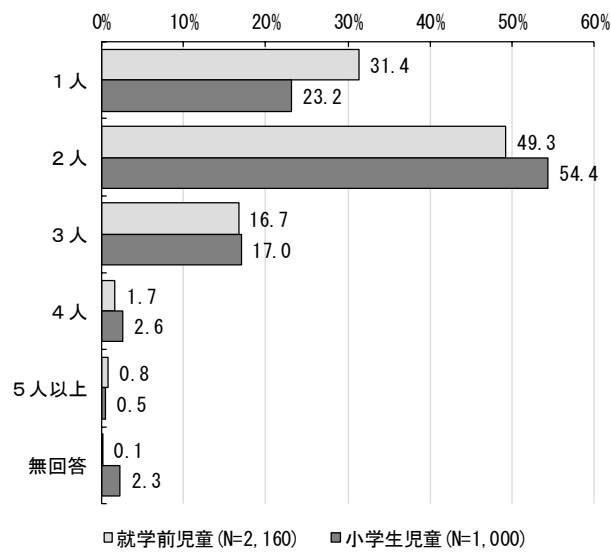
【就学前児童 (N=2,160)】



【小学生児童 (N=1,000)】

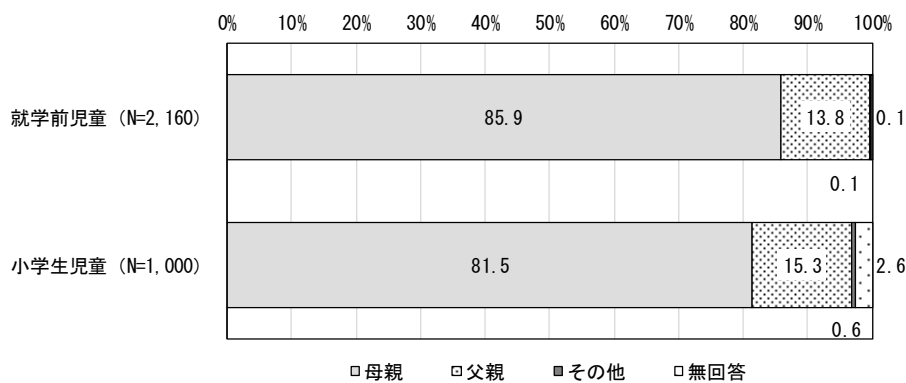


(4) お子さんは何人いらっしゃいますか。〈数量回答〉



(5) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。〈単数回答〉

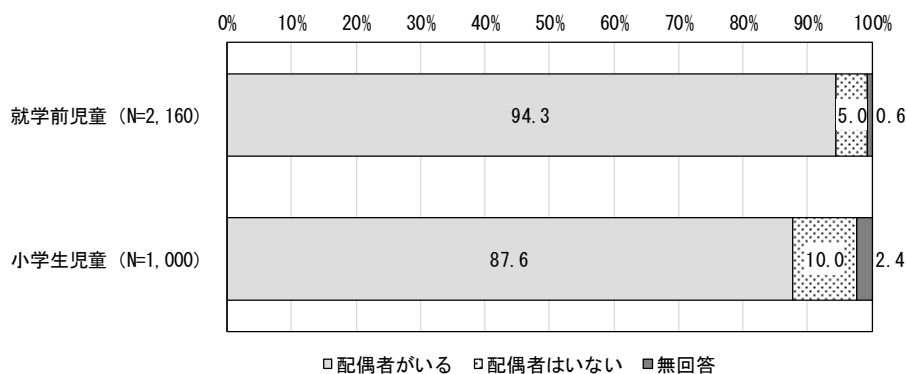
(就学前児童調査・小学生児童調査…問5)



(6) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

〈単数回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問6)

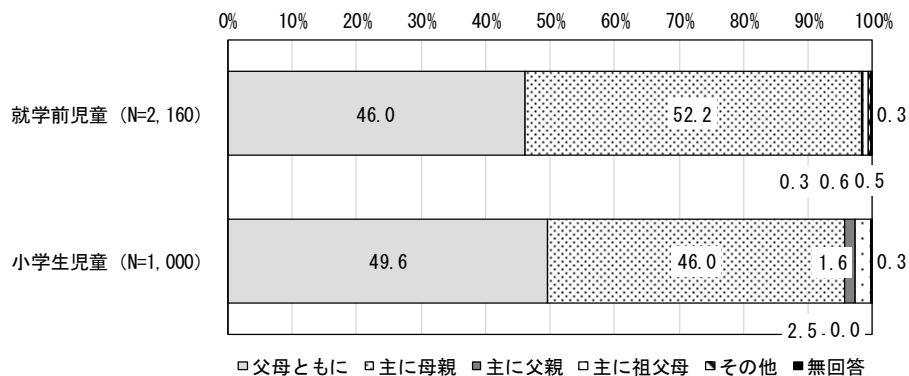


3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

(7) お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

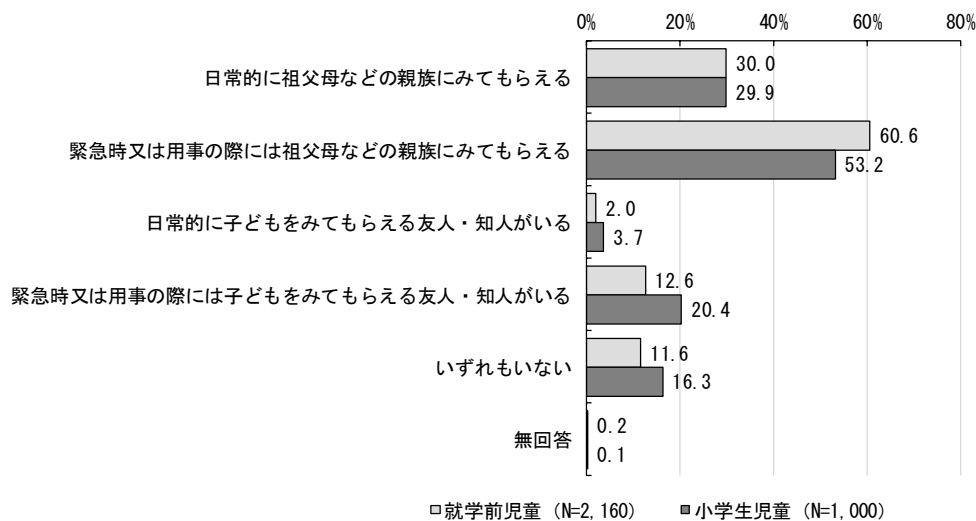
<単数回答>

(就学前児童調査・小学生児童調査…問7)



(8) 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。 <複数回答>

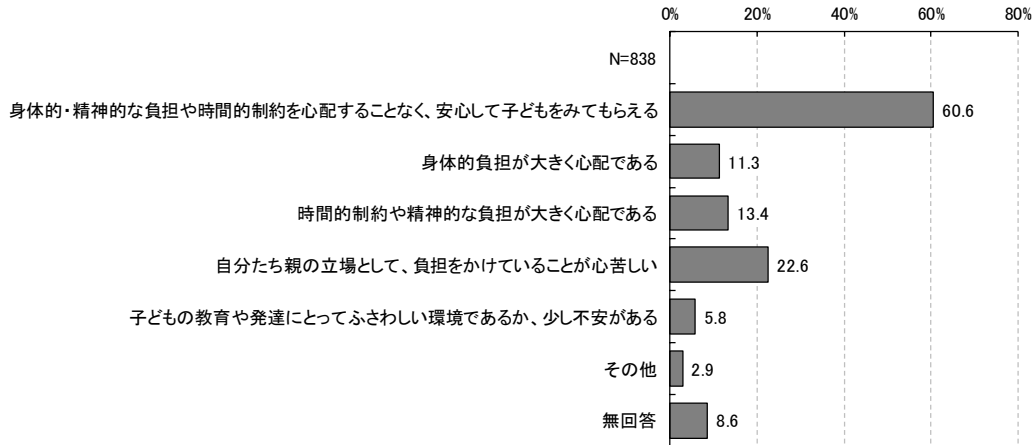
(就学前児童調査・小学生児童調査…問8)



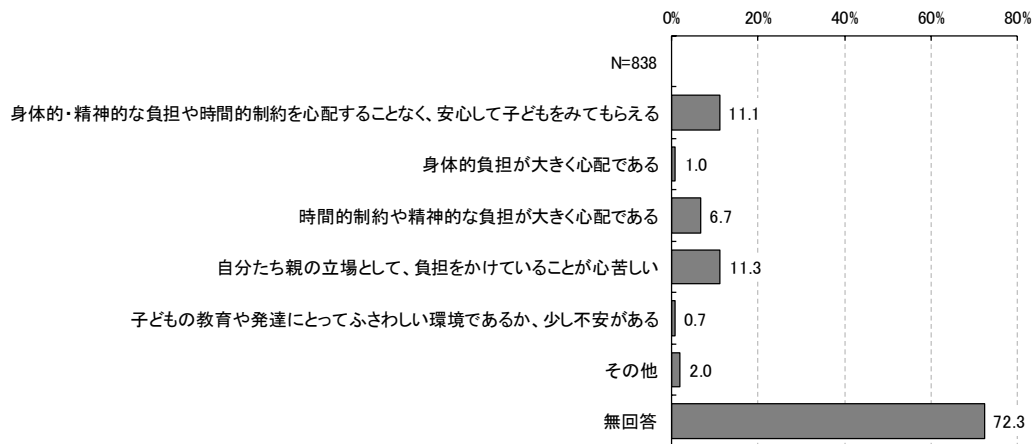
(9) お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。〈複数回答〉

(小学生調査…問 8-1)

① 祖父母など



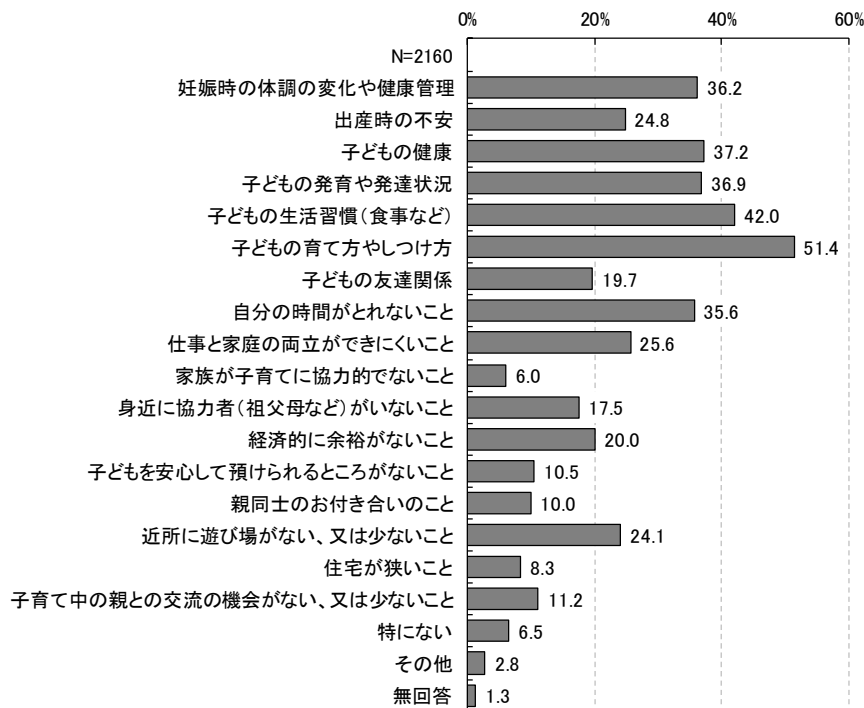
② 友人・知人



(10) 妊娠、出産、子育てを通じて、困ったことや悩んだことはありますか。

<複数回答>

(就学前児童調査…問9)

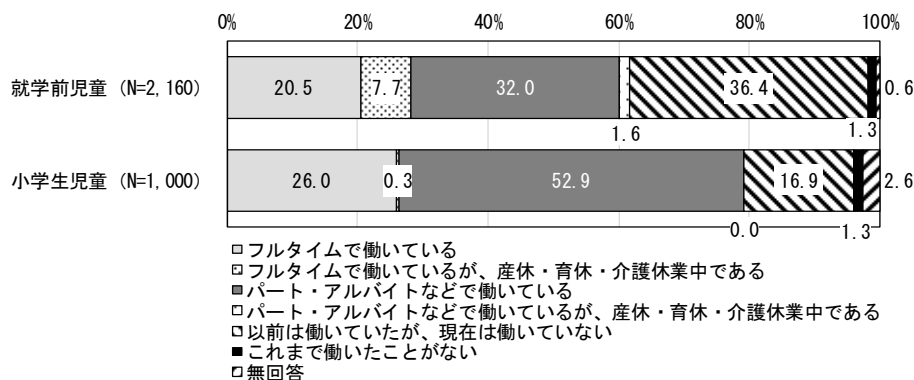


4. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

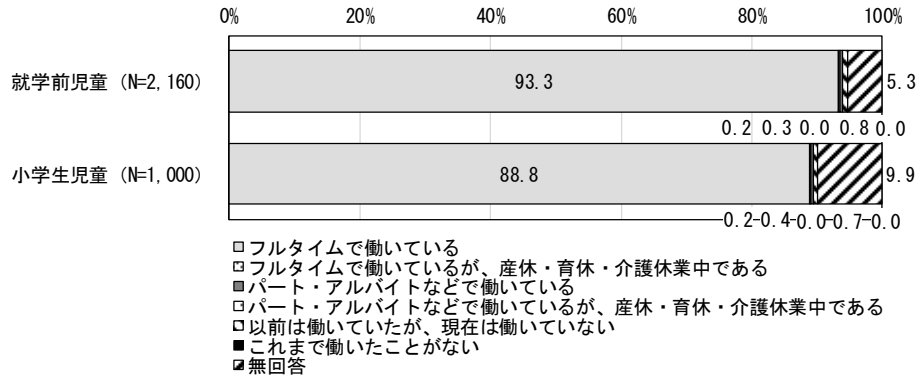
(11) お子さんの保護者の現在の就労状況について、①母親、②父親のそれぞれで当てはまる番号1つに○をつけてください。 <単数回答>

(就学前児童調査…問10 小学生児童調査…問9)

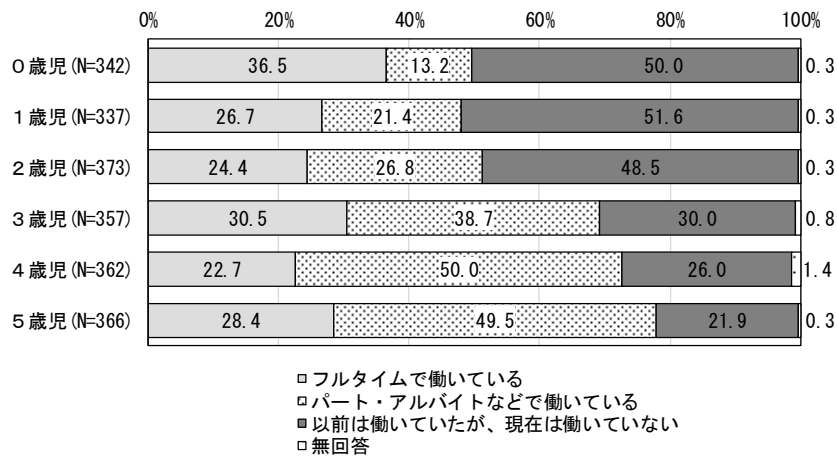
(母親)



(父親)



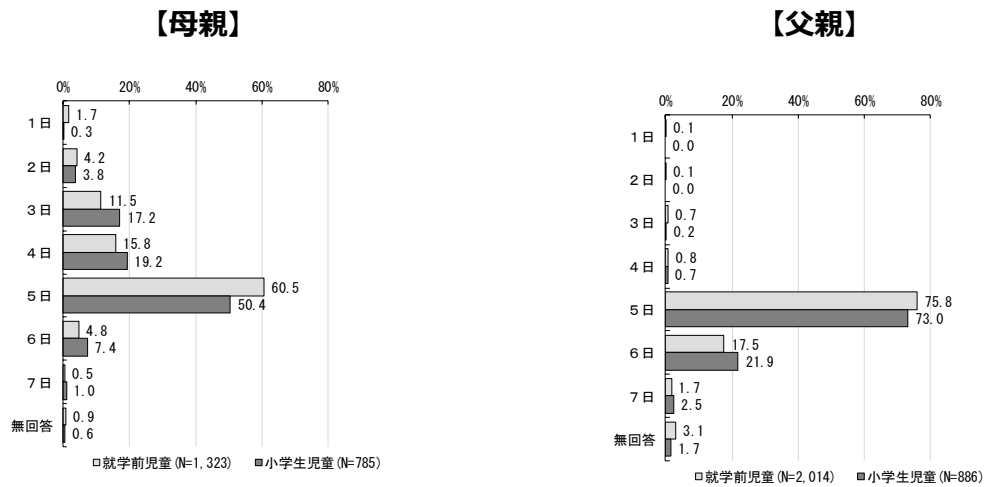
《年齢×母親の就労状況》



(12) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を①母親、②父親についてそれぞれ□内に数字でお答えください。

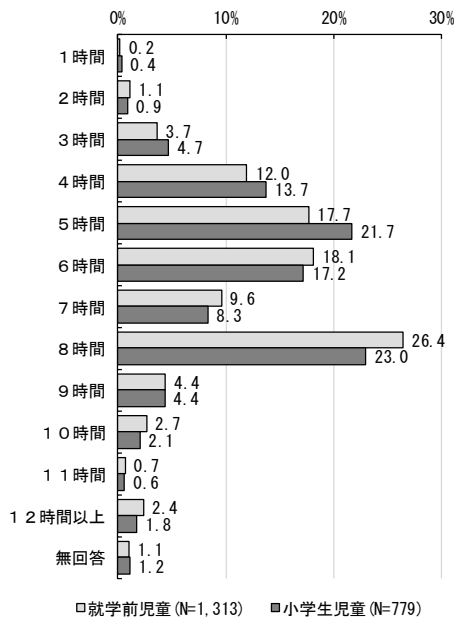
(就学前児童調査…問 10-1 小学生児童調査…問 9-1)

(1週当たりの就労日数)

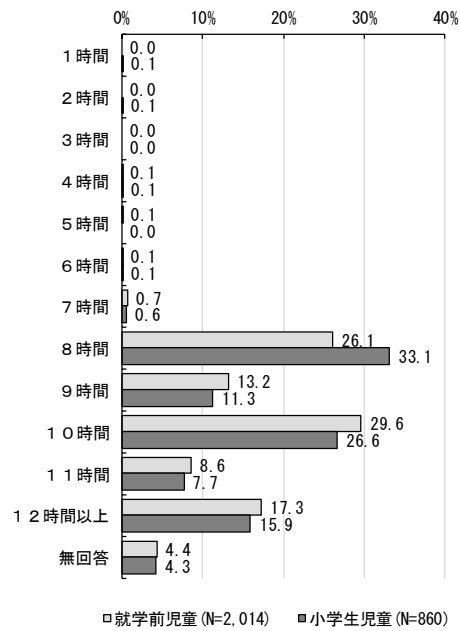


(1日当たりの就労時間)

【母親】



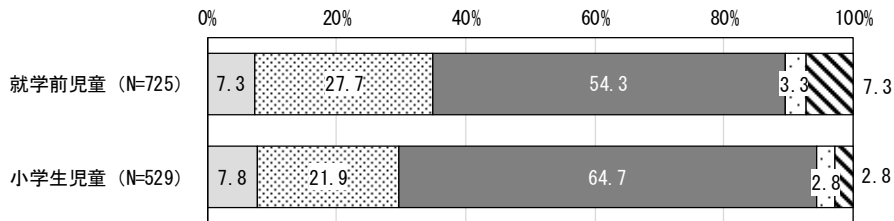
【父親】



(13) フルタイムへの転換希望はありますか。〈単数回答〉

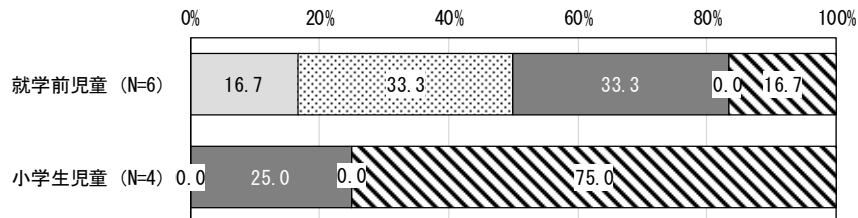
(就学前児童調査…問 11 小学生児童調査…問 10)

(母親)



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望
- パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(父親)

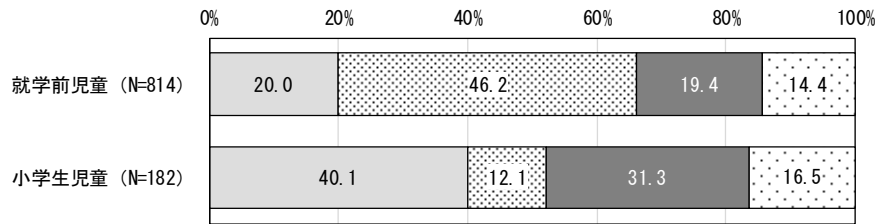


- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望
- パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(14) 就労したいという希望はありますか。〈単数回答〉

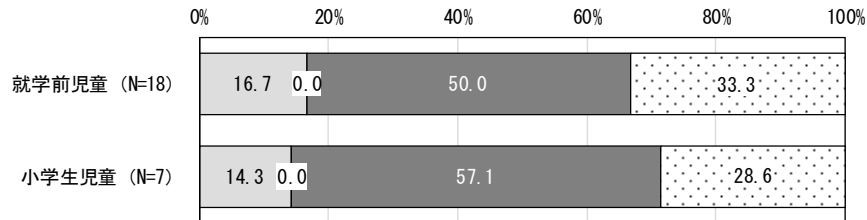
(就学前児童調査…問 12 小学生児童調査…問 11)

(母親)



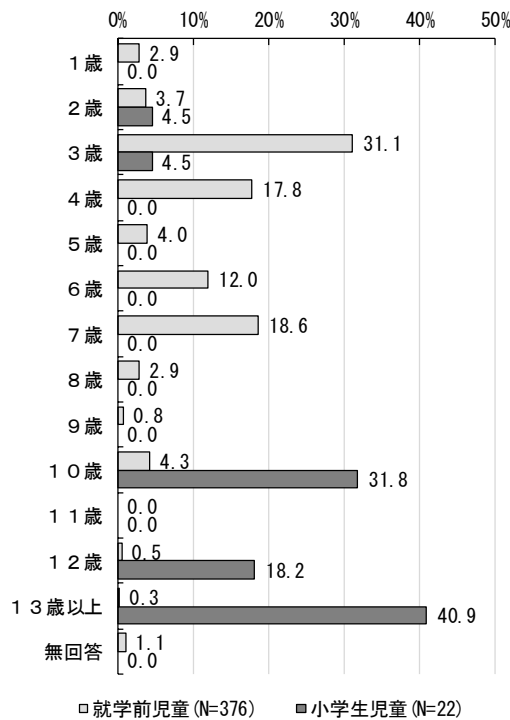
- 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい
- すぐにも、又は1年以内に就労したい
- 無回答

(父親)

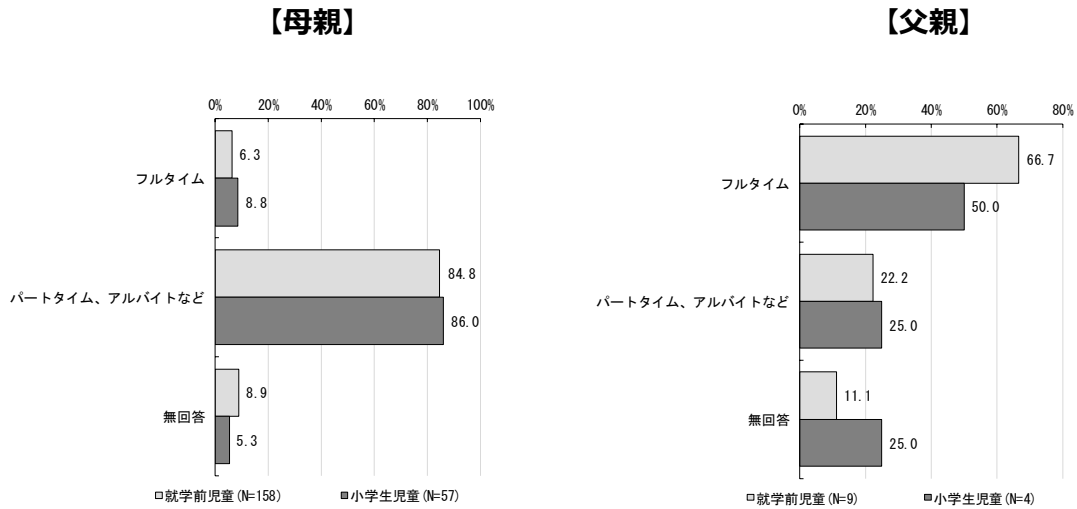


- 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい
- すぐにも、又は1年以内に就労したい
- 無回答

(就労を希望する子どもの年齢)



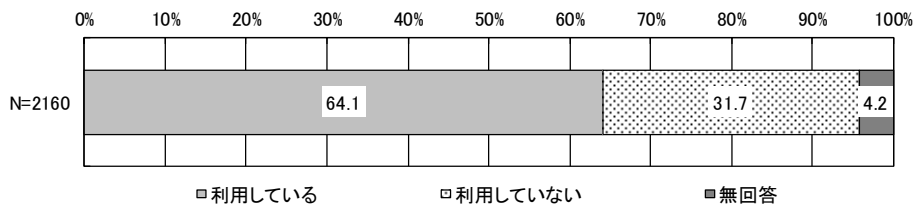
(希望する就労形態)



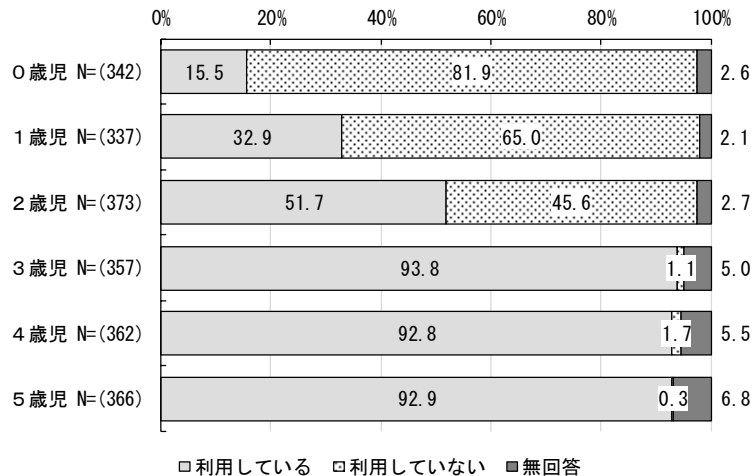
5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

(15) お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 13)

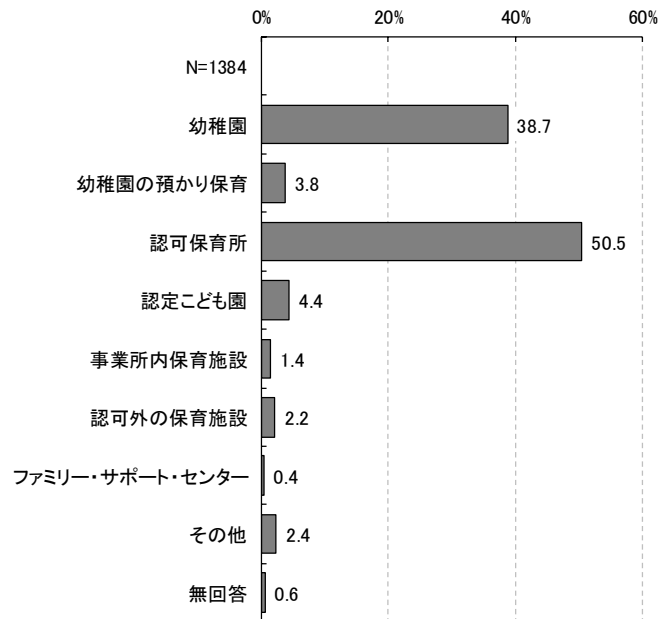


《年齢×利用状況》



(16) 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。〈複数回答〉

(就学前児童調査…問 13-1)



《年齢×利用している事業》

		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
		0歳児 (N=53)	件数 6 % 11.3	2 3.8	41 77.4	1 1.9	2 3.8	3 5.7	0 0.0	1 1.9
1歳児 (N=111)	件数 7 % 6.3	1 0.9	86 77.5	3 2.7	9 8.1	5 4.5	0 0.0	2 1.8	1 0.9	
2歳児 (N=193)	件数 41 % 21.2	3 1.6	111 57.5	7 3.6	7 3.6	8 4.1	3 1.6	15 7.8	3 1.6	
3歳児 (N=335)	件数 160 % 47.8	10 3.0	151 45.1	16 4.8	2 0.6	6 1.8	2 0.6	4 1.2	0 0.0	
4歳児 (N=336)	件数 159 % 47.3	16 4.8	144 42.9	18 5.4	0 0.0	3 0.9	0 0.0	8 2.4	1 0.3	
5歳児 (N=340)	件数 159 % 46.8	19 5.6	157 46.2	16 4.7	0 0.0	3 0.9	1 0.3	3 0.9	3 0.9	

《母親の就労状況×利用している事業》

		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
		フルタイムで働いている (N=454)	件数 43 % 9.5	12 2.6	373 82.2	10 2.2	7 1.5	9 2.0	3 0.7	8 1.8
パート・アルバイトなどで働いている (N=600)	件数 224 % 37.3	31 5.2	313 52.2	27 4.5	12 2.0	16 2.7	2 0.3	11 1.8	1 0.2	
以前は働いていたが、現在は働いていない (N=321)	件数 265 % 82.6	7 2.2	11 3.4	22 6.9	1 0.3	5 1.6	1 0.3	14 4.4	3 0.9	

(17) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。〈数量回答〉

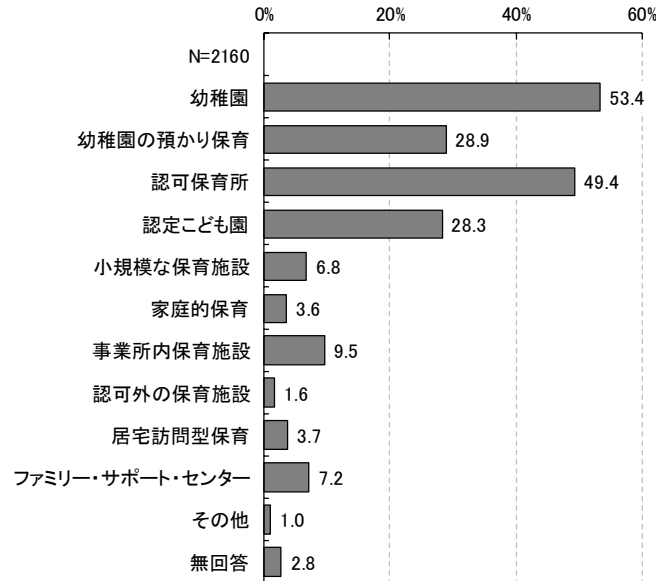
(就学前児童調査…問 13-2)

集計中

(18) 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

〈複数回答〉

(就学前児童調査…問 14)



《年齢×利用したい事業》

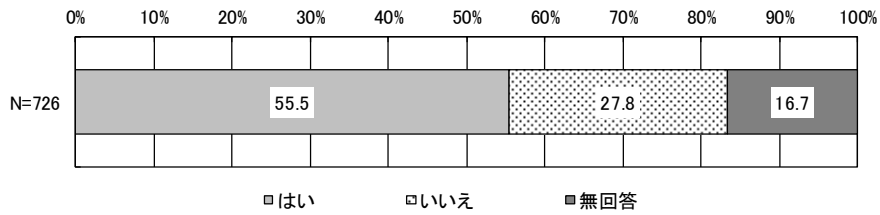
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
		0 歳児 (N=342)	件数	183	94	202	113	34	14	40	7	11	23
	%	53.5	27.5	59.1	33.0	9.9	4.1	11.7	2.0	3.2	6.7	1.2	3.5
1 歳児 (N=337)	件数	195	95	179	113	24	6	30	3	14	24	5	9
	%	57.9	28.2	53.1	33.5	7.1	1.8	8.9	0.9	4.2	7.1	1.5	2.7
2 歳児 (N=373)	件数	199	111	192	101	31	21	37	7	22	27	2	10
	%	53.4	29.8	51.5	27.1	8.3	5.6	9.9	1.9	5.9	7.2	0.5	2.7
3 歳児 (N=357)	件数	188	122	169	97	17	15	38	9	10	28	6	10
	%	52.7	34.2	47.3	27.2	4.8	4.2	10.6	2.5	2.8	7.8	1.7	2.8
4 歳児 (N=362)	件数	190	101	146	90	19	12	34	4	9	25	3	10
	%	52.5	27.9	40.3	24.9	5.2	3.3	9.4	1.1	2.5	6.9	0.8	2.8
5 歳児 (N=366)	件数	190	93	167	89	19	8	26	2	14	27	2	8
	%	51.9	25.4	45.6	24.3	5.2	2.2	7.1	0.5	3.8	7.4	0.5	2.2

《母親の就労状況×利用したい事業》

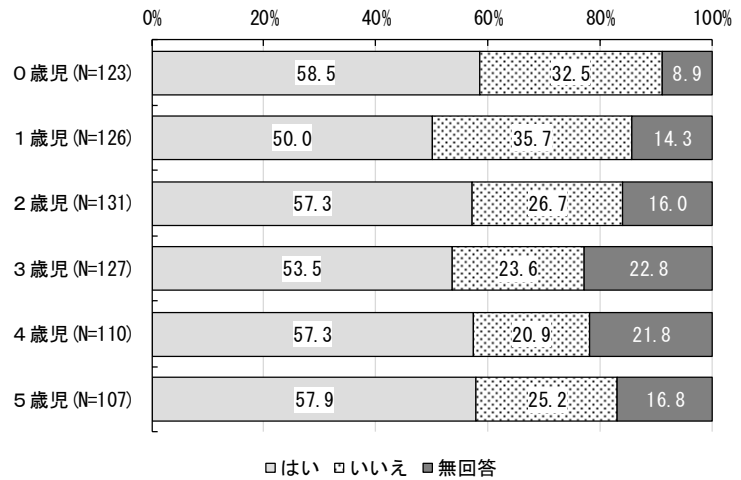
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
		フルタイムで働いている (N=609)	件数	166	125	446	178	38	20	78	16	31	44
	%	27.3	20.5	73.2	29.2	6.2	3.3	12.8	2.6	5.1	7.2	1.3	3.6
パート・アルバイトなどで働いている (N=725)	件数	321	216	393	204	43	21	66	12	25	56	7	17
	%	44.3	29.8	54.2	28.1	5.9	2.9	9.1	1.7	3.4	7.7	1.0	2.3
以前は働いていたが、現在は働いていない (N=814)	件数	661	279	222	225	64	35	62	7	23	54	7	21
	%	81.2	34.3	27.3	27.6	7.9	4.3	7.6	0.9	2.8	6.6	0.9	2.6

(19) 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。〈単数回答〉

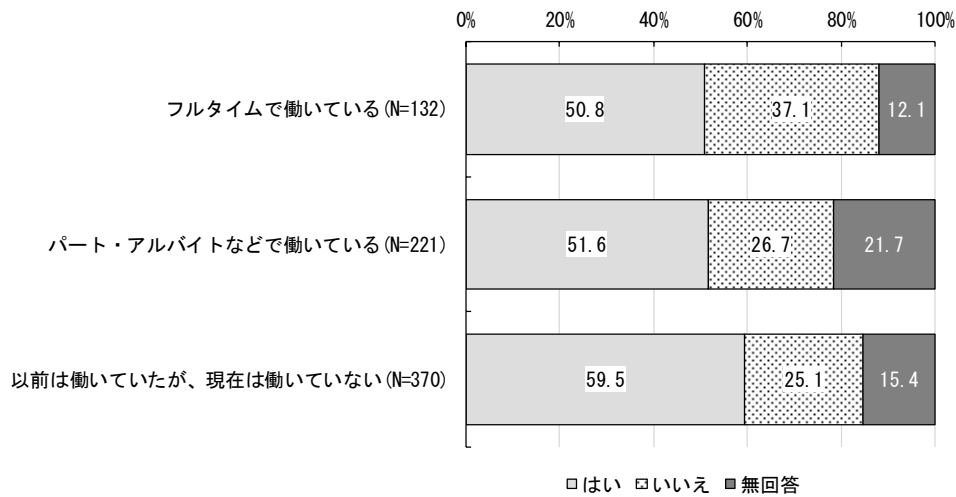
（就学前児童調査…問 14-1）



《年齢×利用したい事業》



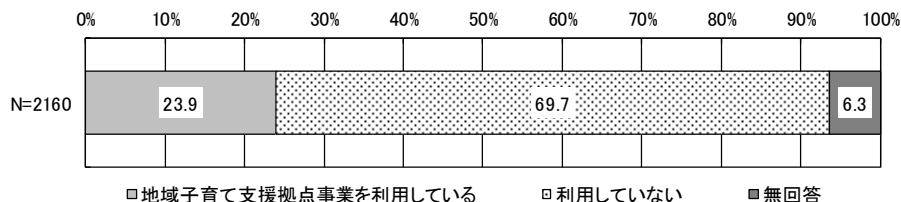
《母親の就業状況×利用したい事業》



6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

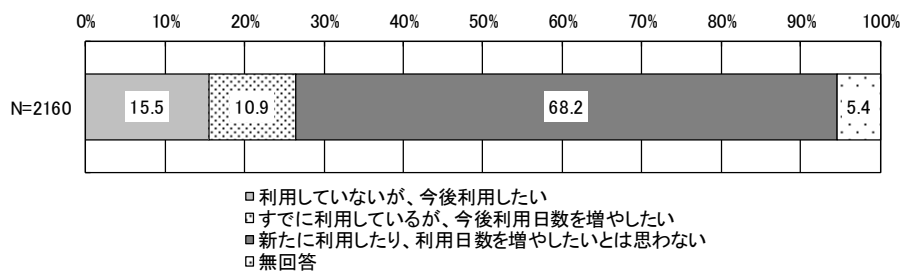
(20) お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場（地域交流センター、げんき館などのプレイルーム）」「子育て支援センター」などと呼ばれています）を利用していますか。〈単数回答〉

（就学前児童調査…問 15）



(21) 今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。〈単数回答〉

（就学前児童調査…問 16）

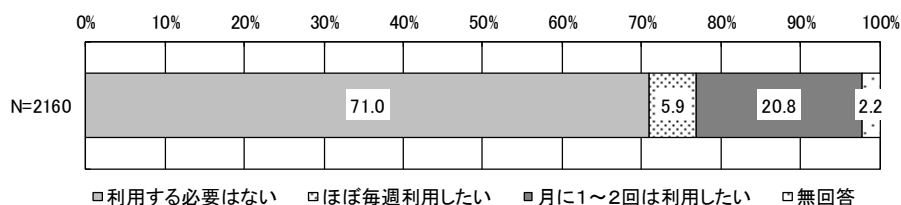


7. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

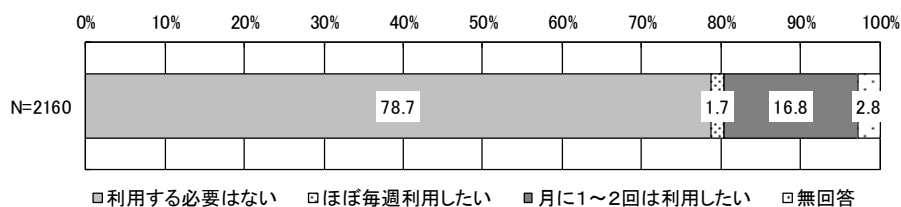
(22) お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 17)

(土曜日)

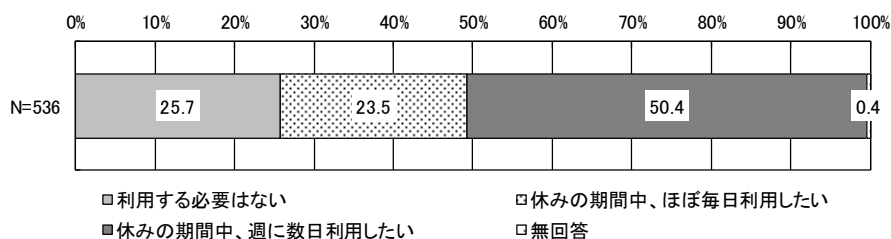


(日曜・祝日)



(23) お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。〈単数回答〉

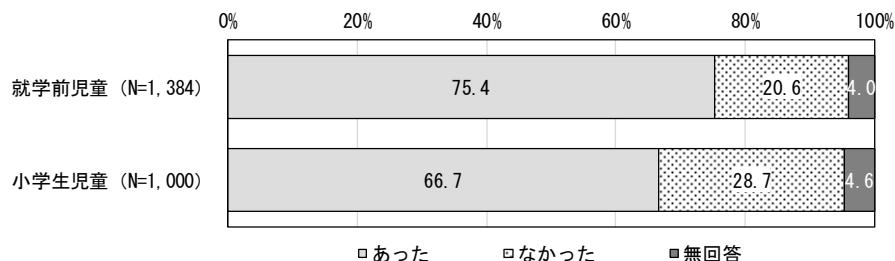
(就学前児童調査…問 18)



8. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます (平日の教育・保育を利用する方のみ)

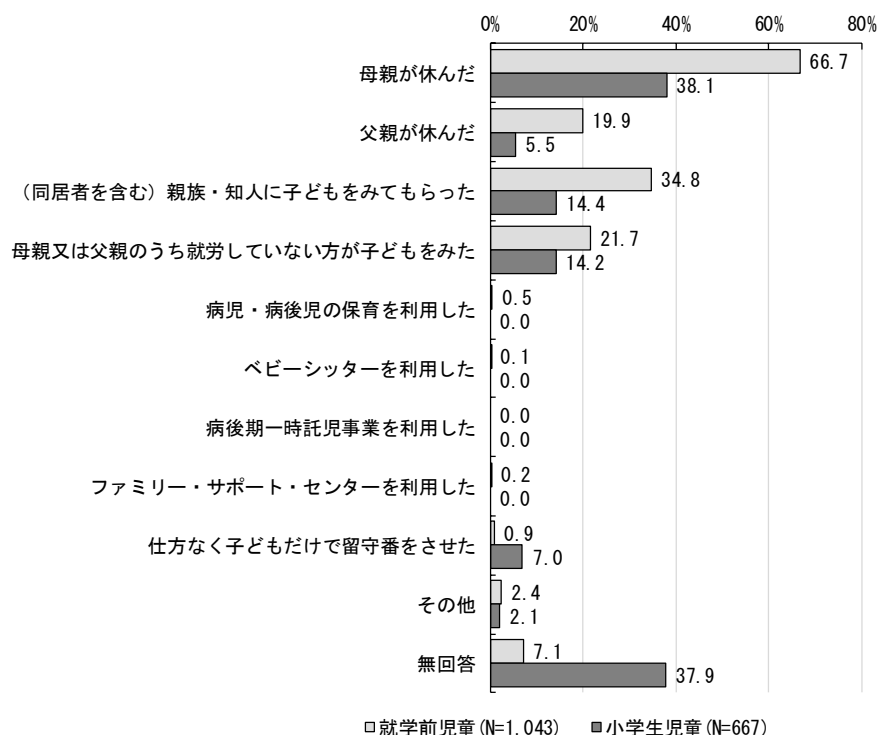
(24) この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 19 小学生児童調査…問 14)



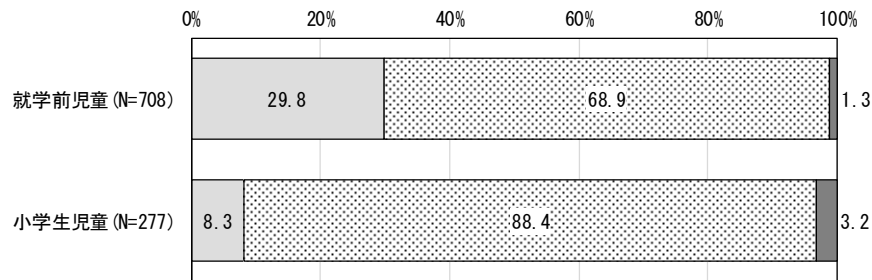
(25) お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法〈複数回答〉

(就学前児童調査…問 19-1 小学生児童調査…問 14-1)



(26) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設（小学生児童の場合は、病後児一時託児事業）などを利用したい」と思われましたか。〈単数回答〉

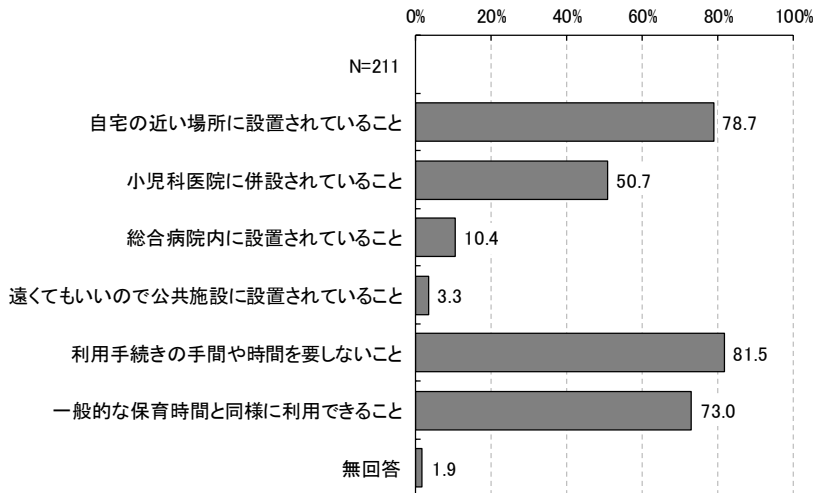
(就学前児童調査…問 19-2 小学生児童調査…問 14-2)



- できれば病児・病後児保育施設（小学生児童の場合は、病後児一時託児事業）などを利用したい
- 利用したいとは思わない
- 無回答

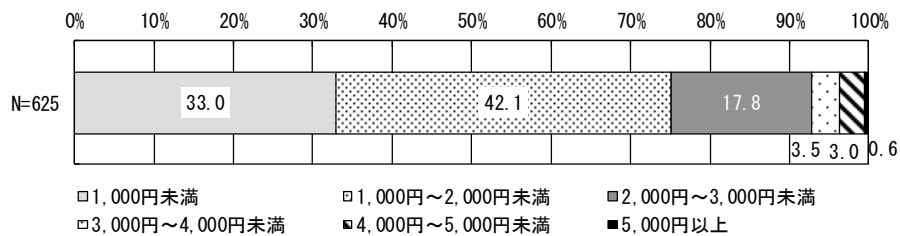
(27) 病児・病後児保育施設について、希望する条件はありますか。〈複数回答〉

(就学前児童調査…問 19-3)



(28) 病児・病後児保育施設を利用しようとする場合、1回あたりの利用料金がいくらまでなら利用されますか。〈単数回答〉

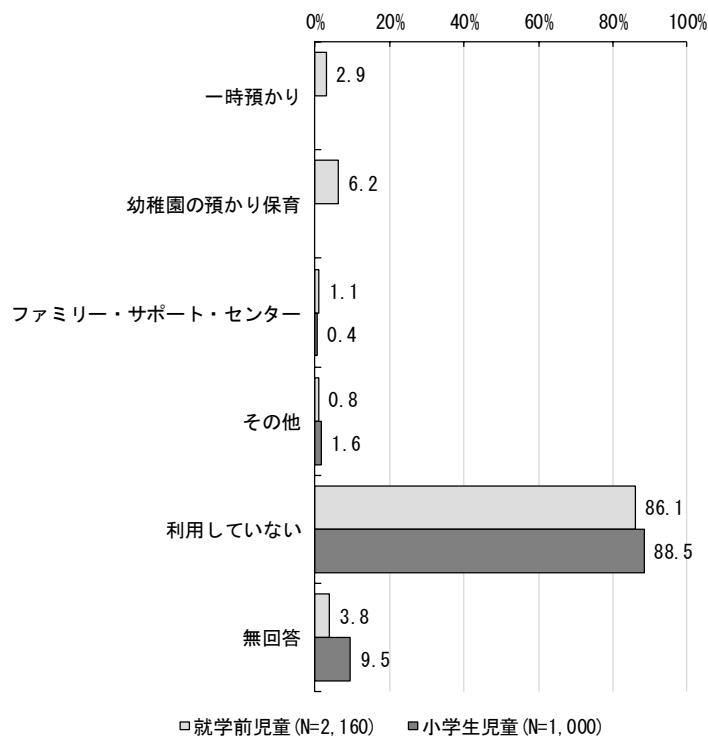
(就学前児童調査…問 19-4)



9. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます

(29) お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。〈複数回答〉

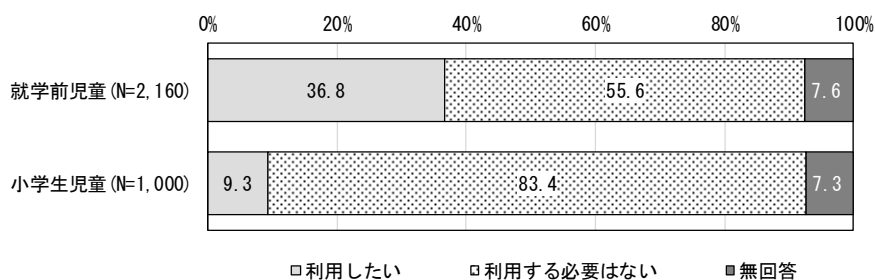
(就学前児童調査…問 20 小学生児童調査…問 15)



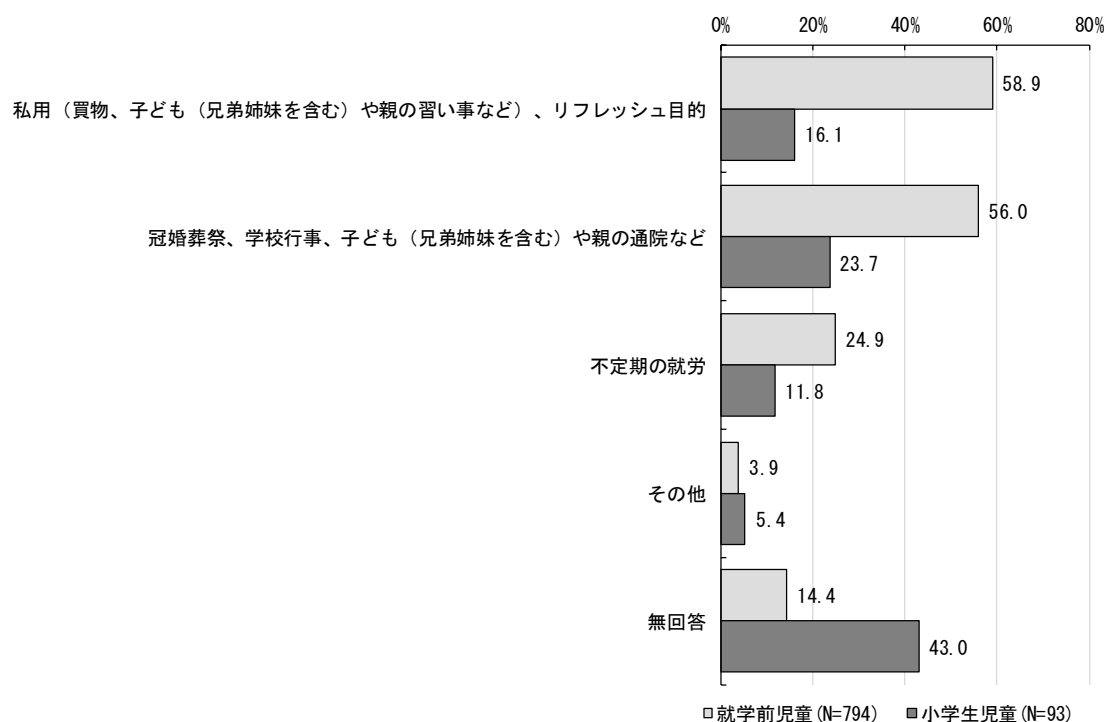
(30) お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい
事業を利用する必要があると思いますか。

(就学前児童調査…問 21 小学生児童調査…問 16)

(利用希望の有無 単数回答)



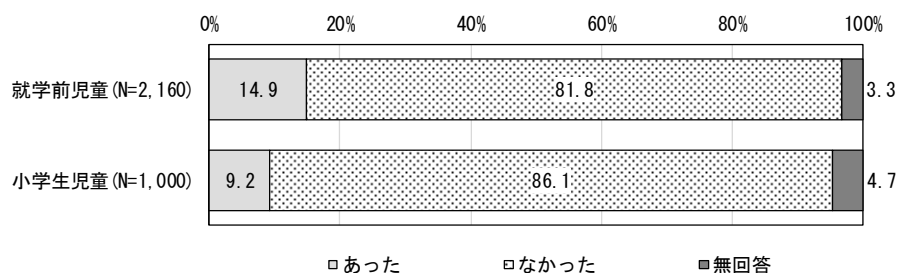
(利用する目的 複数回答)



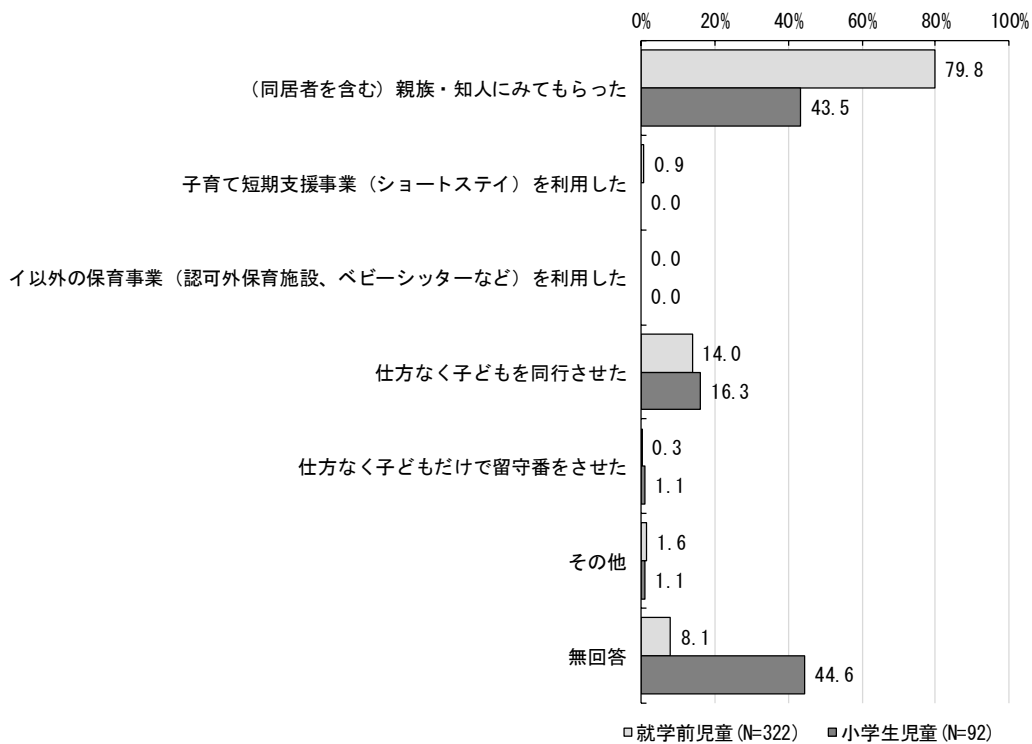
(31) この1年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか (預け先がみつからなかった場合も含む)。

(就学前児童調査…問 22 小学生児童調査…問 17)

(家族以外に子どもをみてもらったことの有無 単数回答)



(対処方法 複数回答)

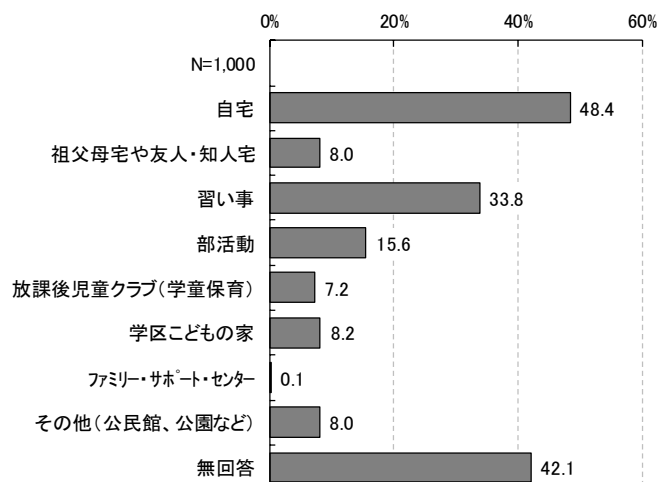


10.放課後の過ごし方 (就学前児童の場合は、5歳児のみ) について

(32) 宛名のお子さんについて、小学生になったら、放課後 (平日の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。 <複数回答>

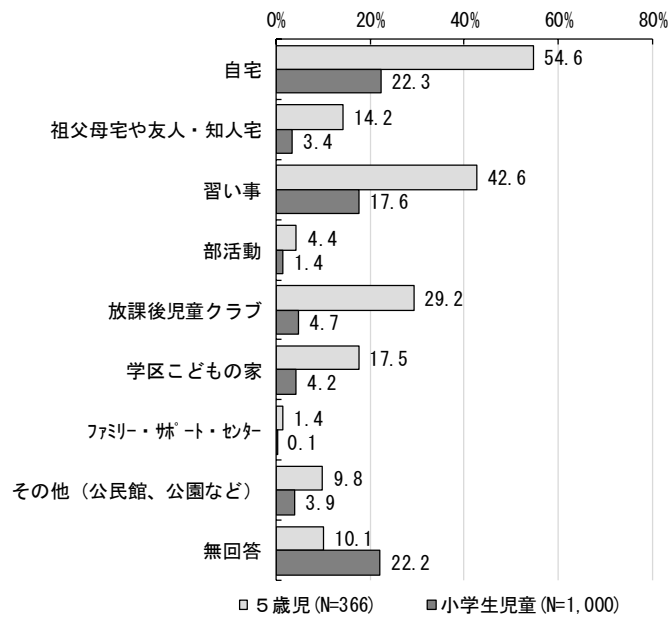
(現在の過ごし方)

(小学生児童調査…問 18)



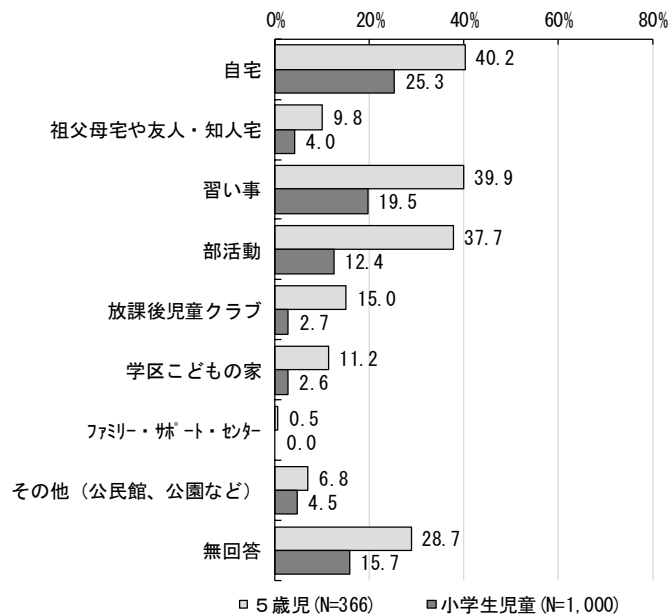
(希望の過ごし方 低学年)

(就学前児童調査…問 23 小学生児童調査…問 18)



(希望の過ごし方 高学年)

(就学前児童調査…問 23 小学生児童調査…問 18)



《 現行の過ごし方×希望の過ごし方（低学年） 》

		自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	部活動	放課後児童クラブ(学童保育)	学区こどもの家	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
1. 自宅(N=484)	件数	222	29	164	13	9	34	1	38	258
	%	45.9	6.0	33.9	2.7	1.9	7.0	0.2	7.9	53.3
2. 祖父母宅や友人・知人宅(N=80)	件数	34	34	26	3	0	9	0	6	38
	%	42.5	42.5	32.5	3.8	0.0	11.3	0.0	7.5	47.5
3. 習い事(N=338)	件数	157	22	175	13	9	29	0	30	145
	%	46.4	6.5	51.8	3.8	2.7	8.6	0.0	8.9	42.9
4. 部活動(N=156)	件数	37	4	32	14	1	5	0	8	116
	%	23.7	2.6	20.5	9.0	0.6	3.2	0.0	5.1	74.4
5. 放課後児童クラブ(学童保育)(N=72)	件数	9	0	11	1	47	1	0	2	5
	%	12.5	0.0	15.3	1.4	65.3	1.4	0.0	2.8	6.9
6. 学区こどもの家(N=82)	件数	38	9	39	2	4	41	0	12	24
	%	46.3	11.0	47.6	2.4	4.9	50.0	0.0	14.6	29.3
7. ファミリー・サポート・センター(N=1)	件数	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
8. その他(公民館、公園など)(N=80)	件数	40	5	33	2	3	9	0	39	37
	%	50.0	6.3	41.3	2.5	3.8	11.3	0.0	48.8	46.3

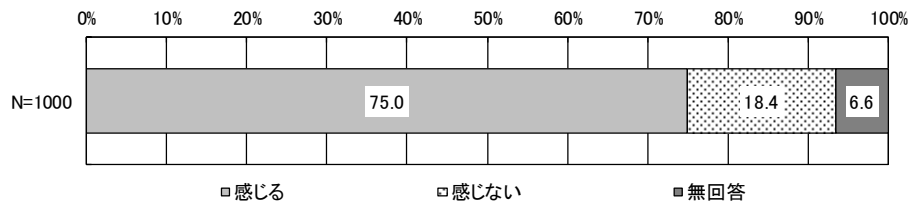
《 現行の過ごし方×希望の過ごし方（高学年） 》

		自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	部活動	放課後児童クラブ(学童保育)	学区こどもの家	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
1. 自宅(N=484)	件数	252	36	179	110	3	16	0	42	231
	%	52.1	7.4	37.0	22.7	0.6	3.3	0.0	8.7	47.7
2. 祖父母宅や友人・知人宅(N=80)	件数	38	40	35	22	1	6	0	4	32
	%	47.5	50.0	43.8	27.5	1.3	7.5	0.0	5.0	40.0
3. 習い事(N=338)	件数	169	30	194	93	4	17	0	28	131
	%	50.0	8.9	57.4	27.5	1.2	5.0	0.0	8.3	38.8
4. 部活動(N=156)	件数	101	22	86	124	4	10	0	23	27
	%	64.7	14.1	55.1	79.5	2.6	6.4	0.0	14.7	17.3
5. 放課後児童クラブ(学童保育)(N=72)	件数	6	1	8	4	27	4	0	2	10
	%	8.3	1.4	11.1	5.6	37.5	5.6	0.0	2.8	13.9
6. 学区こどもの家(N=82)	件数	21	7	27	11	2	25	0	6	44
	%	25.6	8.5	32.9	13.4	2.4	30.5	0.0	7.3	53.7
7. ファミリー・サポート・センター(N=1)	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8. その他(公民館、公園など)(N=80)	件数	46	5	33	22	1	7	0	45	33
	%	57.5	6.3	41.3	27.5	1.3	8.8	0.0	56.3	41.3

(33) 小学生の子どもが家で1人又はきょうだいだけで過ごすことに不安を感じますか。

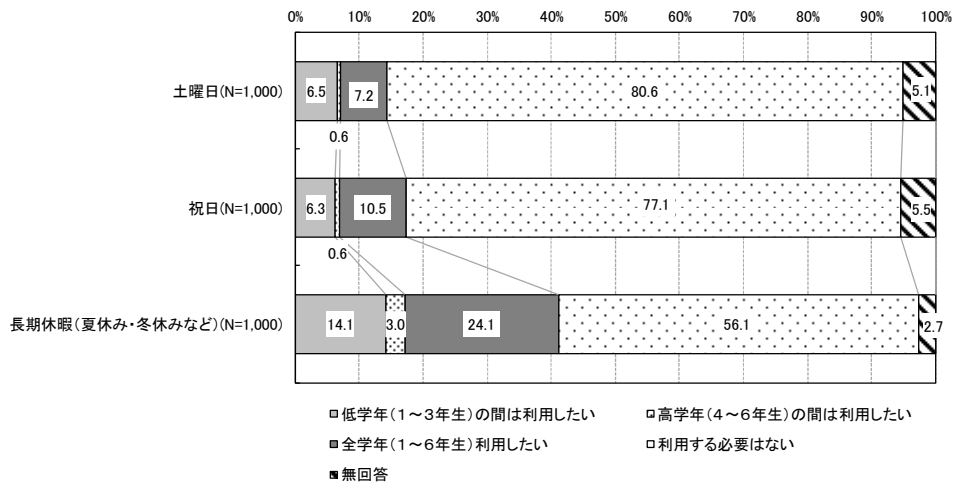
＜単数回答＞

(小学生児童調査…問 19)



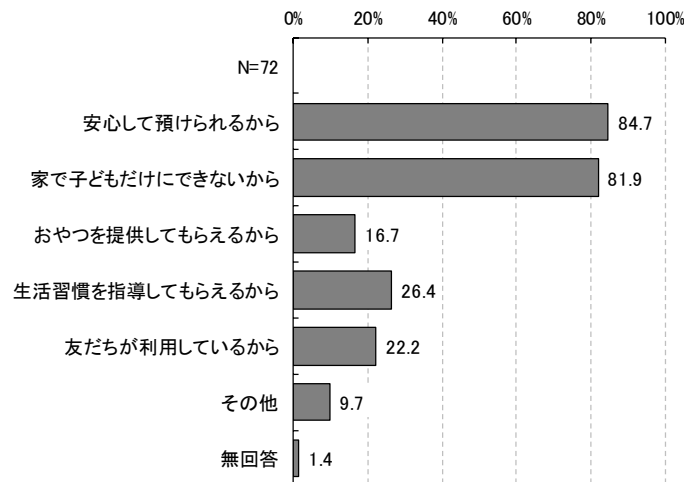
(34) お子さんについて、土曜日、祝日、長期休暇（夏休み・冬休みなど）に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。〈単数回答〉

(小学生児童調査…問 20)



(35) 放課後児童クラブを利用する理由〈複数回答〉

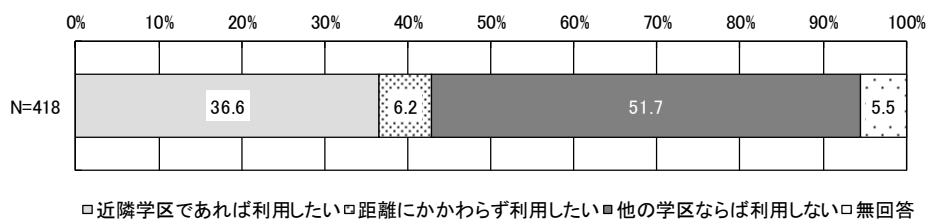
(小学生児童調査…問 21)



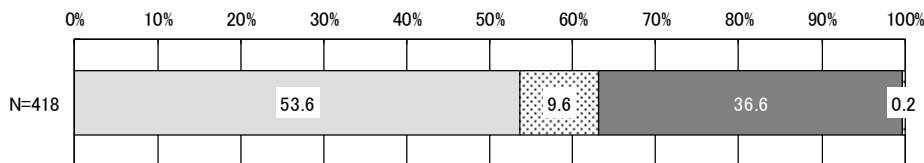
(36) お住まいの学区の放課後児童クラブが利用できない場合、他の学区の放課後児童クラブを利用したいと思いますか。〈単数回答〉

(平日の場合)

(小学生児童調査…問 21-1)



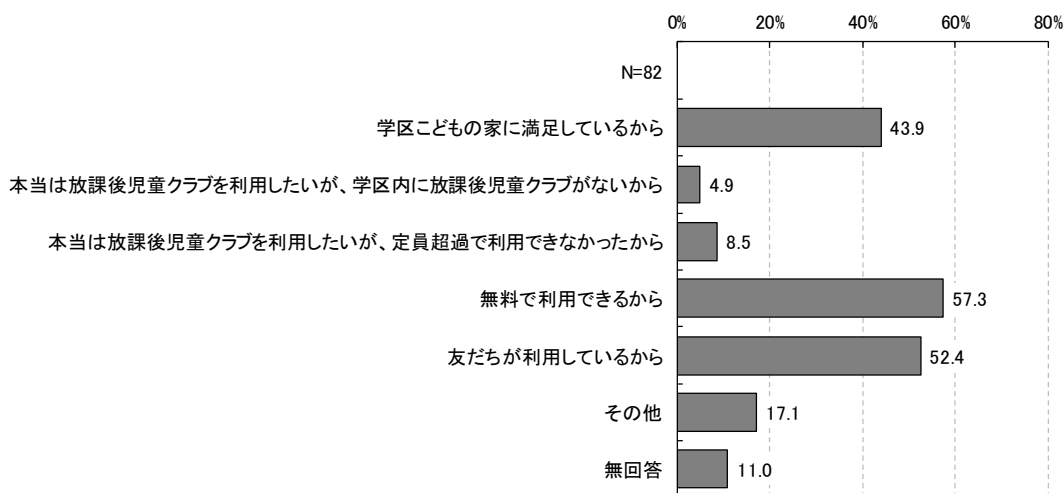
(土日・祝日・長期休暇の場合)



□近隣学区であれば利用したい □距離にかかわらず利用したい □他の学区ならば利用しない □無回答

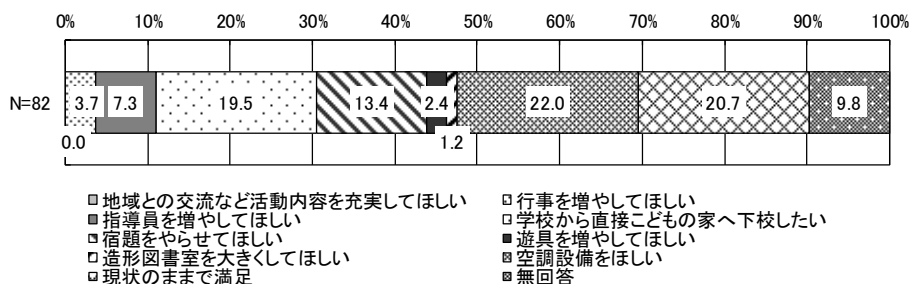
(37) 学区こどもの家を利用する理由<複数回答>

(小学生児童調査…問 22)



(38) お子さんが学区こどもの家を利用するに当たり、こどもの家の機能として望むもの<単数回答>

(小学生児童調査…問 22-1)

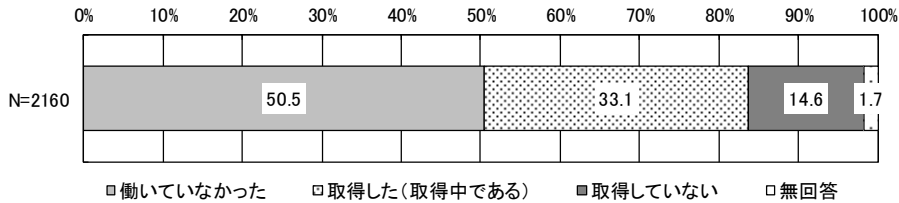


11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

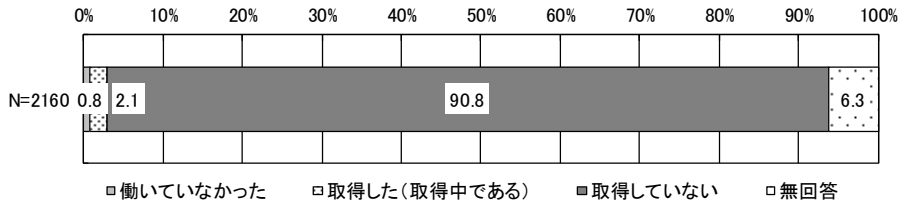
(39) お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。 <単数回答>

(就学前児童調査…問 24)

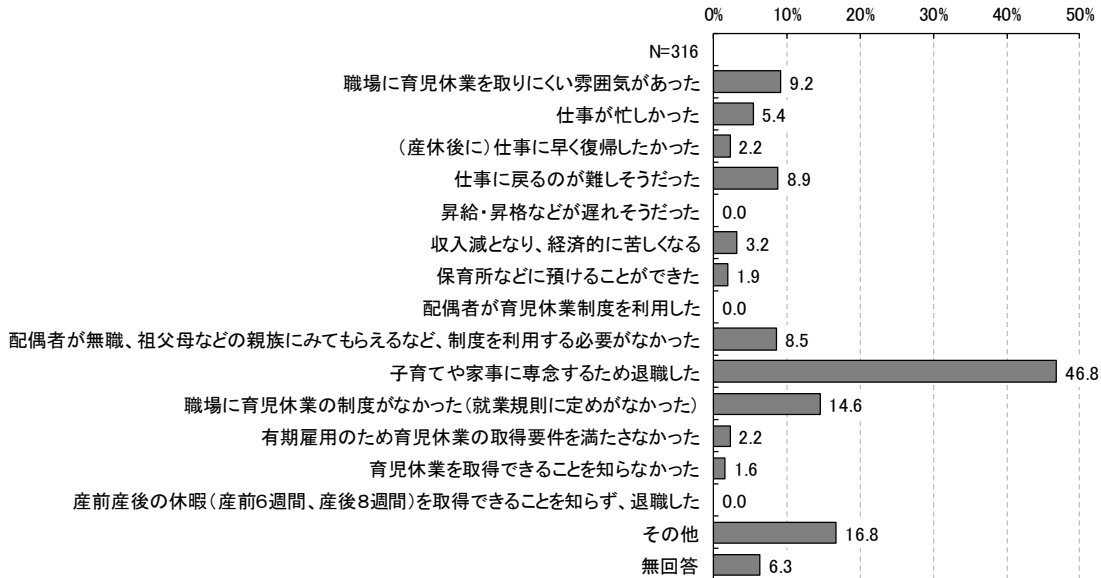
(母親)



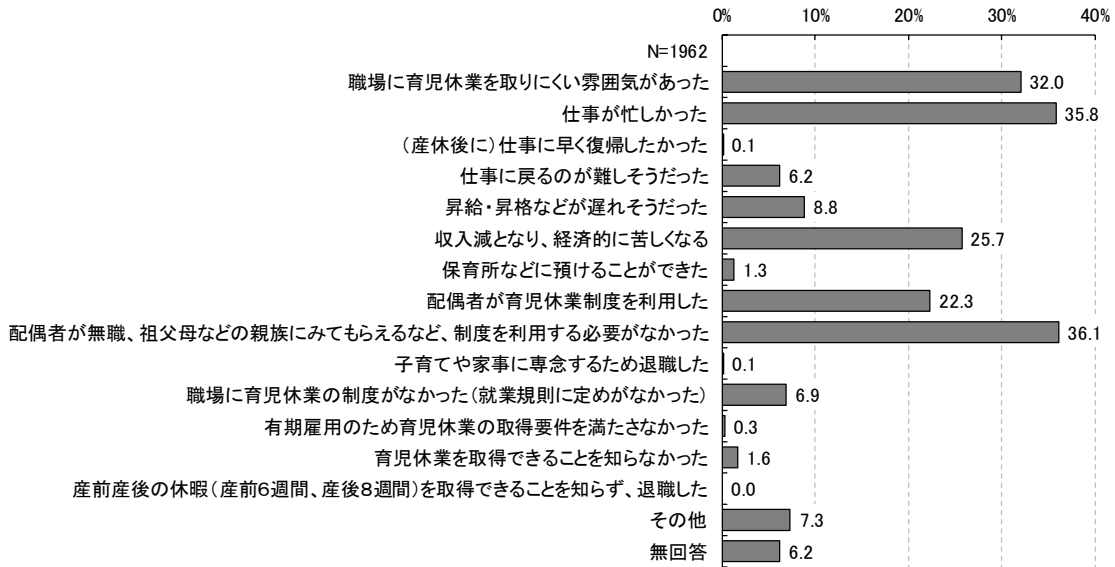
(父親)



(取得していない理由 母親)



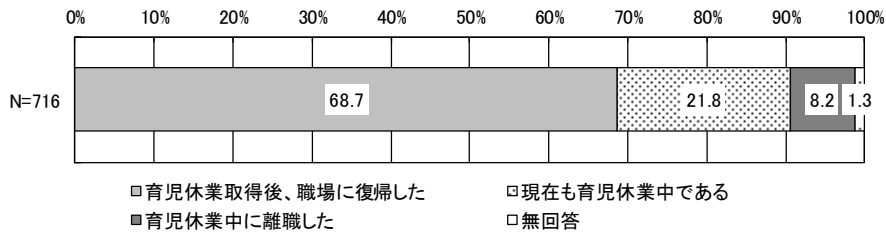
(取得していない理由 父親)



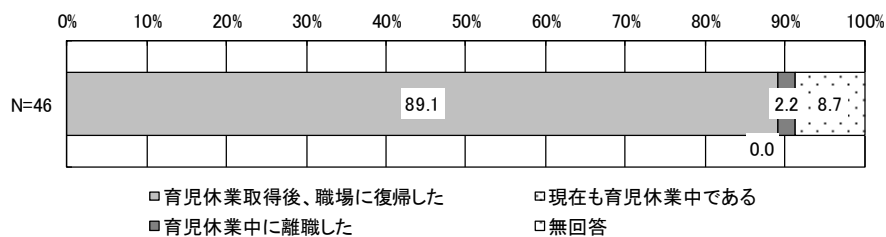
(40) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 24-1)

(母親)



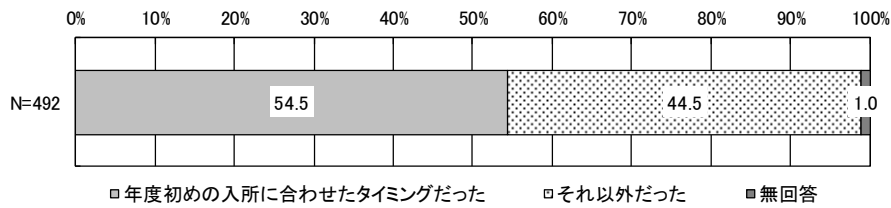
(父親)



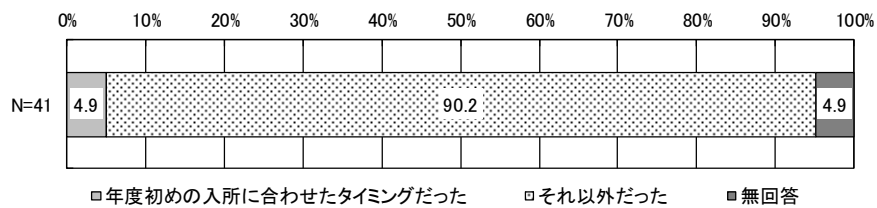
(41) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 24-2)

(母親)



(父親)



(42) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。〈数量回答〉

(就学前児童調査…問 24-3)

集計中

(43) お勤め先の制度内容にかかわらず、子育ての観点から、お子さんが何歳何か月まで育児休業を取得できるのが理想だと考えますか。〈数量回答〉

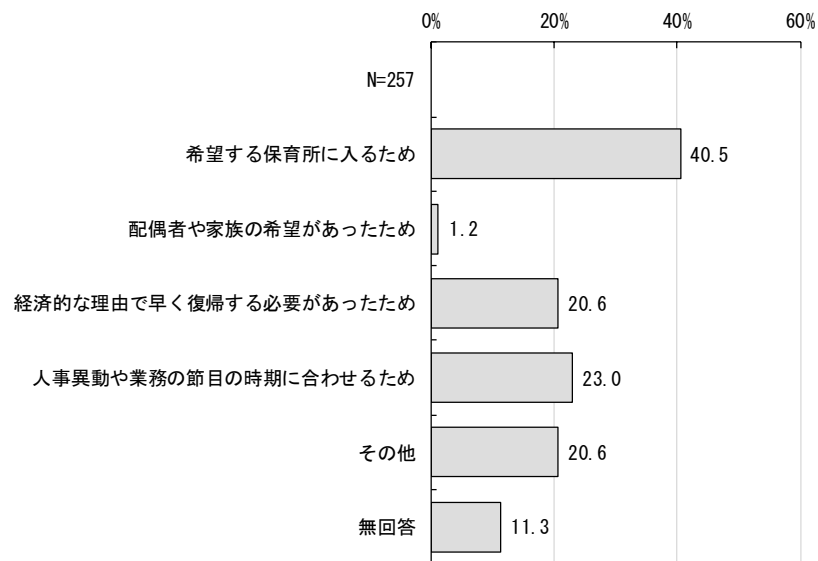
(就学前児童調査…問 24-4)

集計中

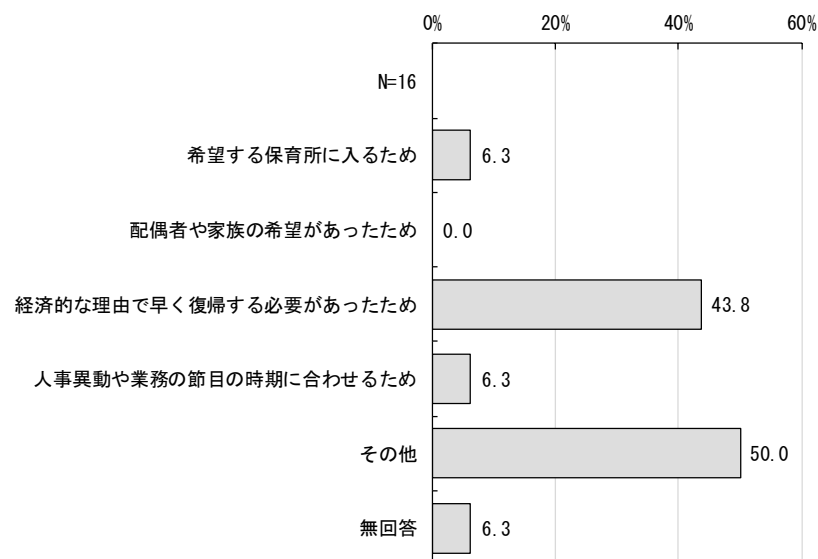
(44) 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(就学前児童調査…問 24-5)

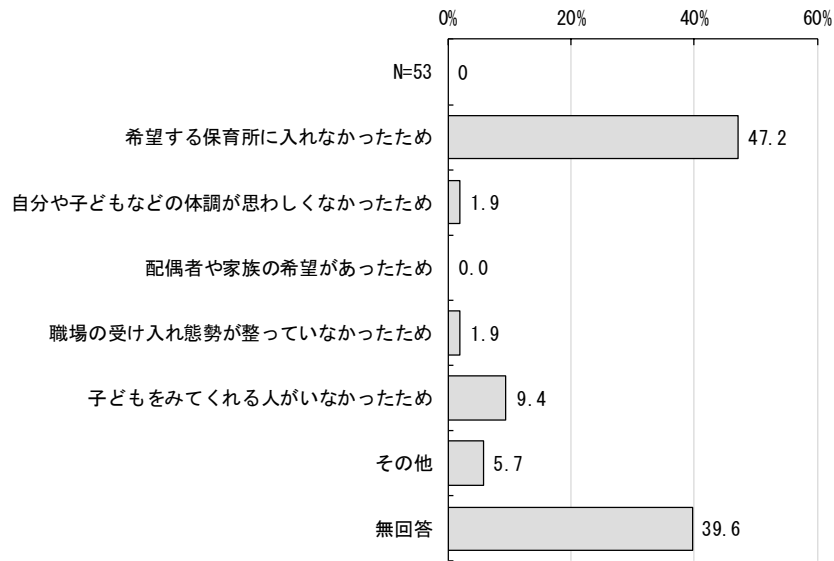
「希望」より早く復帰した方（母親）



「希望」より早く復帰した方（父親）



「希望」より遅く復帰した方（母親）



「希望」より遅く復帰した方（父親）

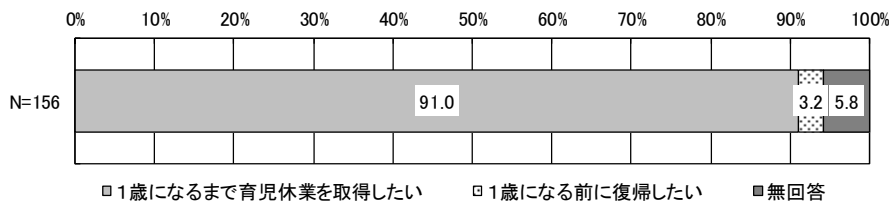
該当なし

(45) お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。又は、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

<単数回答>

(就学前児童調査…問 24-6)

(母親)



(父親)

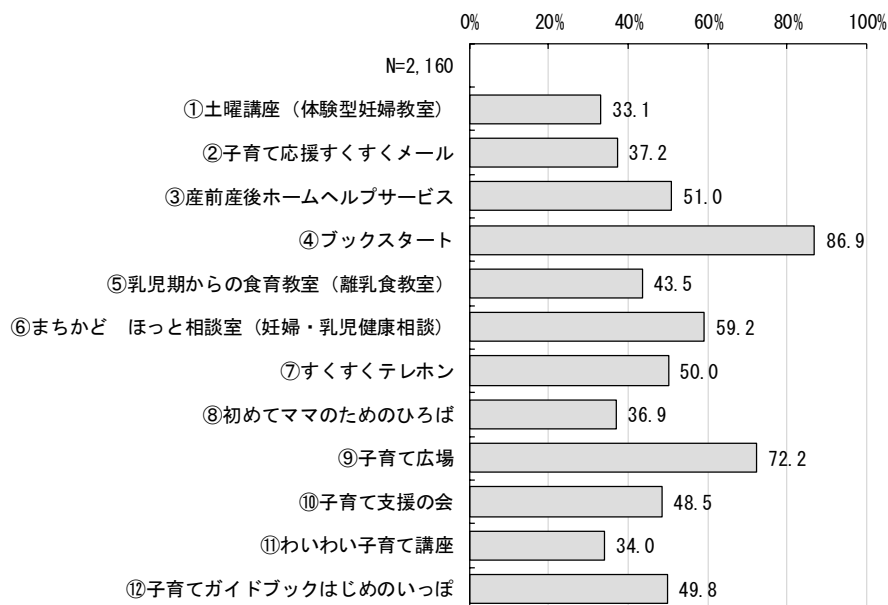
該当なし

12. 子育て全般についてうかがいます

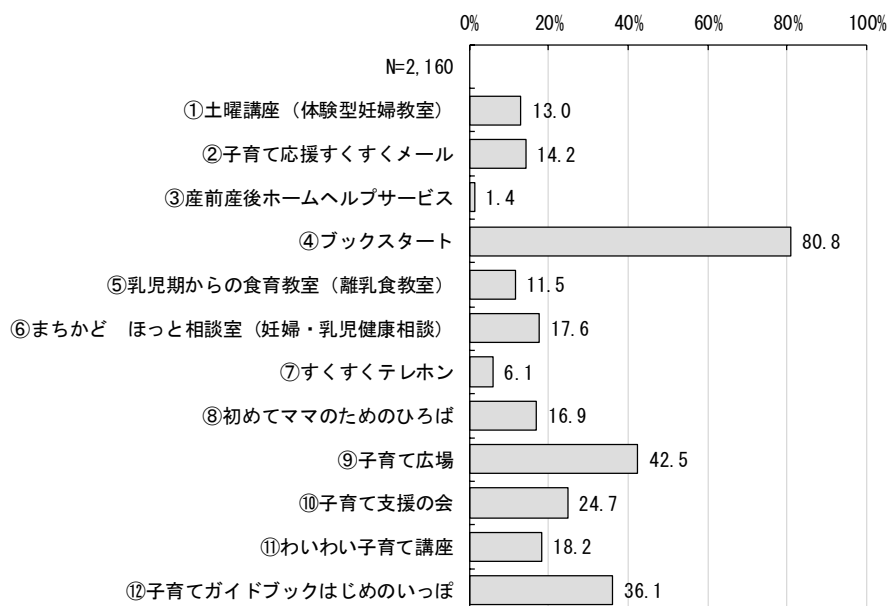
(46) 下記の事業ごとに、A～Cのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。Cについて、既に対象となる時期を過ぎている場合は、対象だったら利用したいと思うかお答えください。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 25)

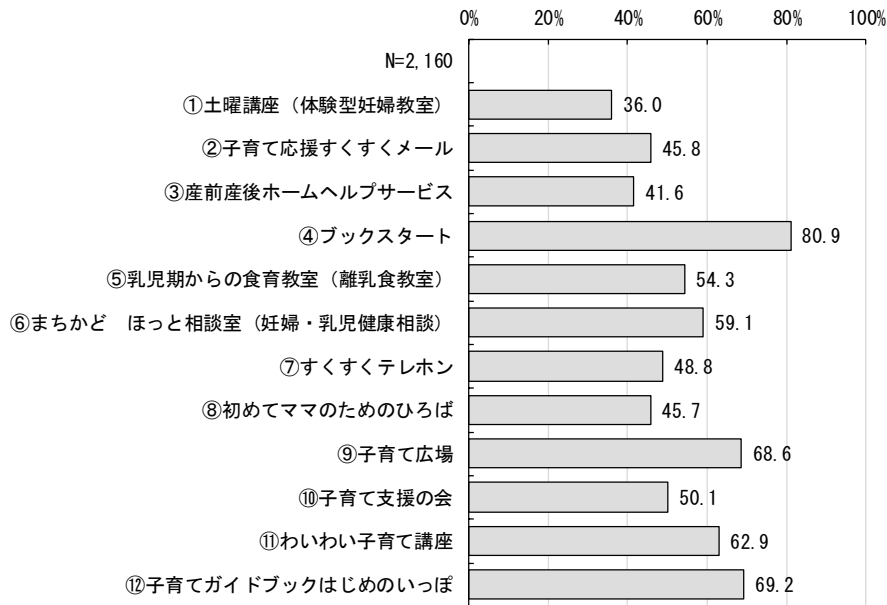
(A. 知っている)



(B. これまでに利用したことがある)

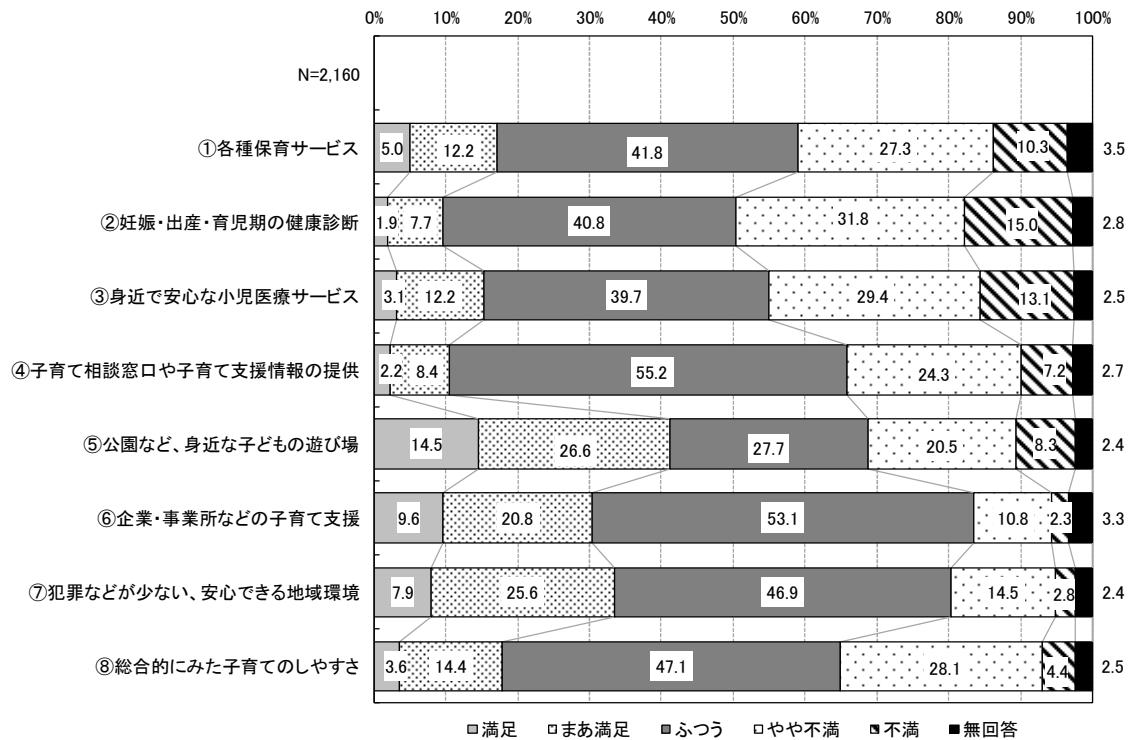


(C. 利用したい)



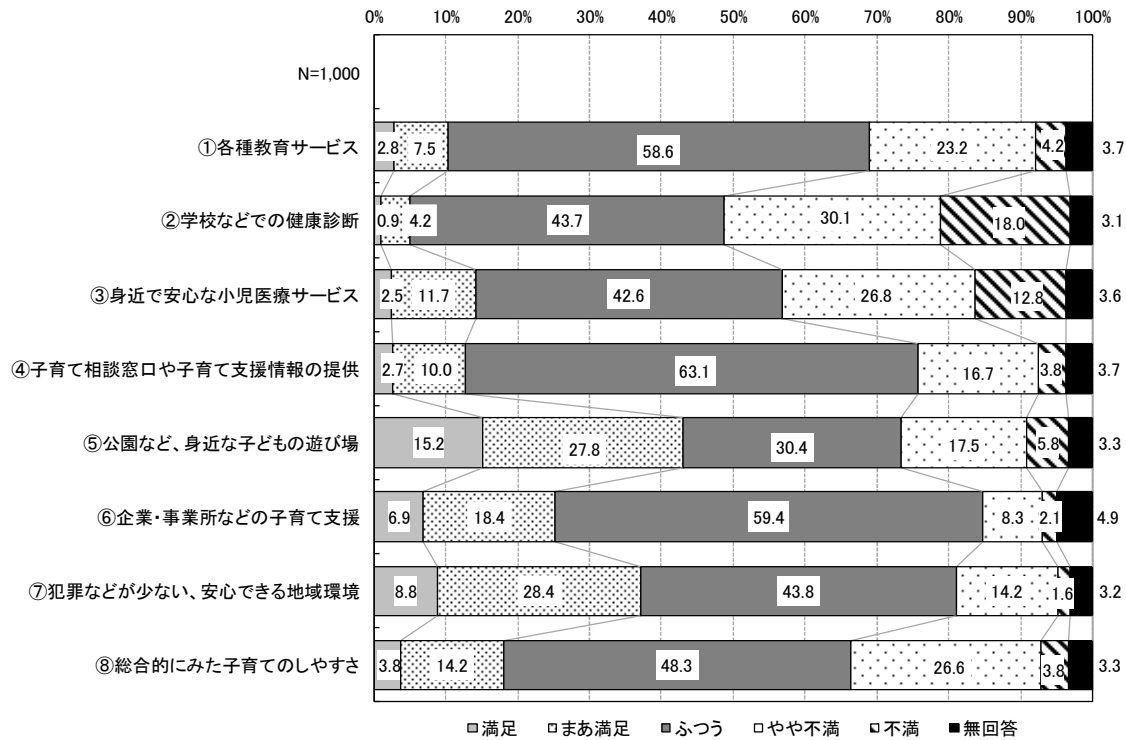
(47) 岡崎市における以下のような分野について満足していますか。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 26)



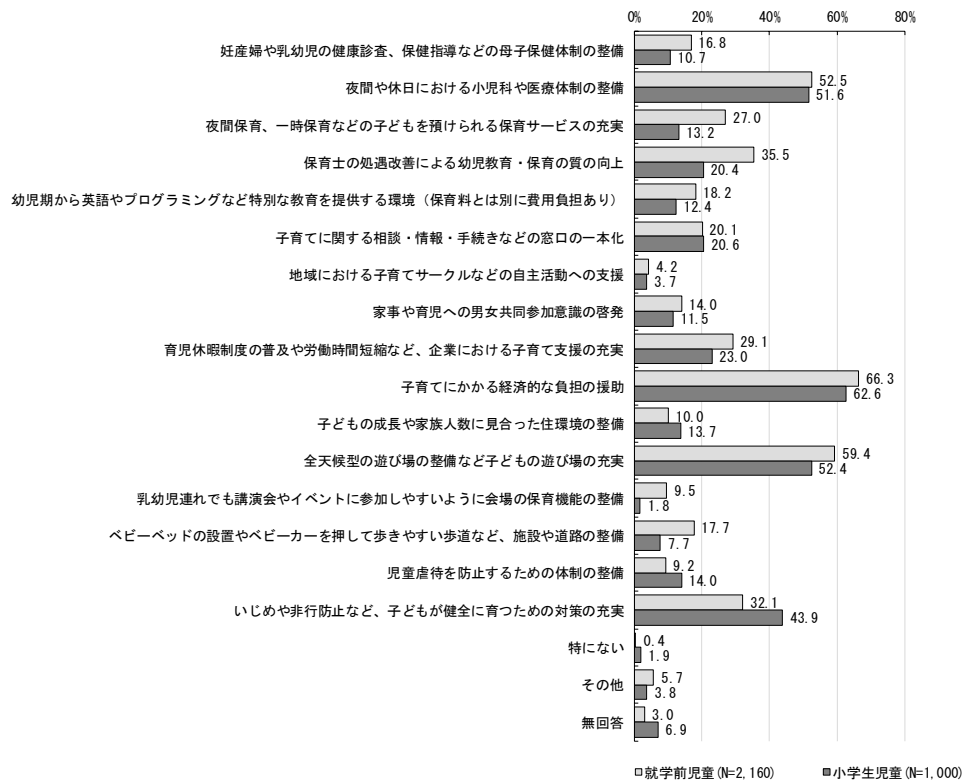
(48) 岡崎市における以下のような分野について満足していますか。〈単数回答〉

(小学生児童調査…問 22)



(49) 子どもを安心して産み育てられる環境のために、市に対してどのような施策を期待しますか。〈複数回答〉

(就学前児童調査…問 27 小学生児童調査…問 23)

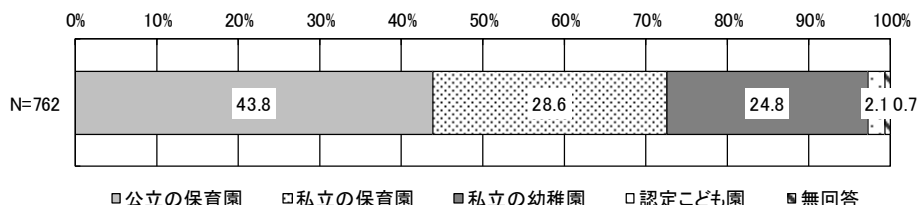


2. 調查結果（園職員）

1. あなたご自身についてうかがいます

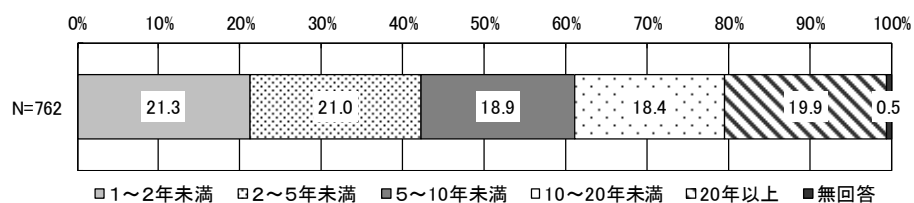
(1) あなたの勤務地は次のうちどれですか。〈単数回答〉

(園職員調査…問1)



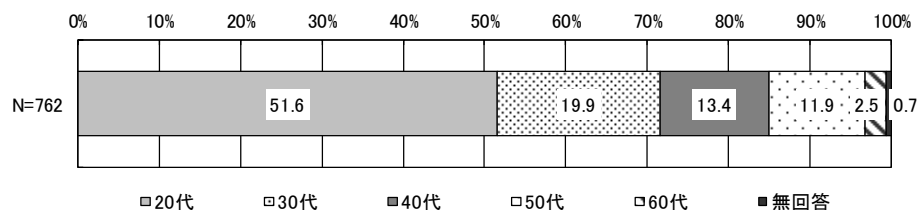
(2) 保育園・幼稚園・認定こども園での保育経験年数は次のうちどれですか。〈単数回答〉

(園職員調査…問2)



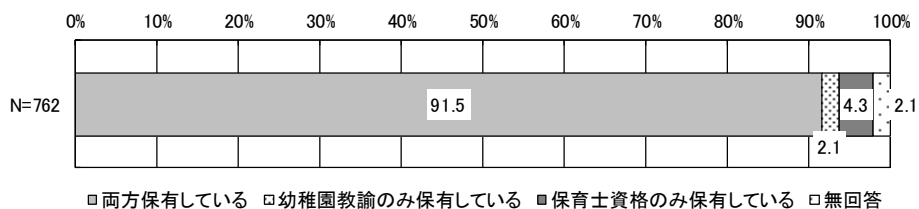
(3) 年齢〈単数回答〉

(園職員調査…問3)



(4) 現在、幼稚園教諭免許及び保育士資格の両方を保有していますか。〈単数回答〉

(園職員調査…問4)

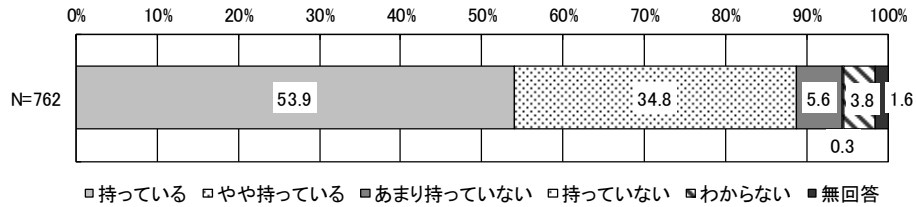


2. 仕事や職場の環境についてうかがいます

(5) 保育園・幼稚園・認定こども園の仕事にやりがいや充実感を持っていますか。

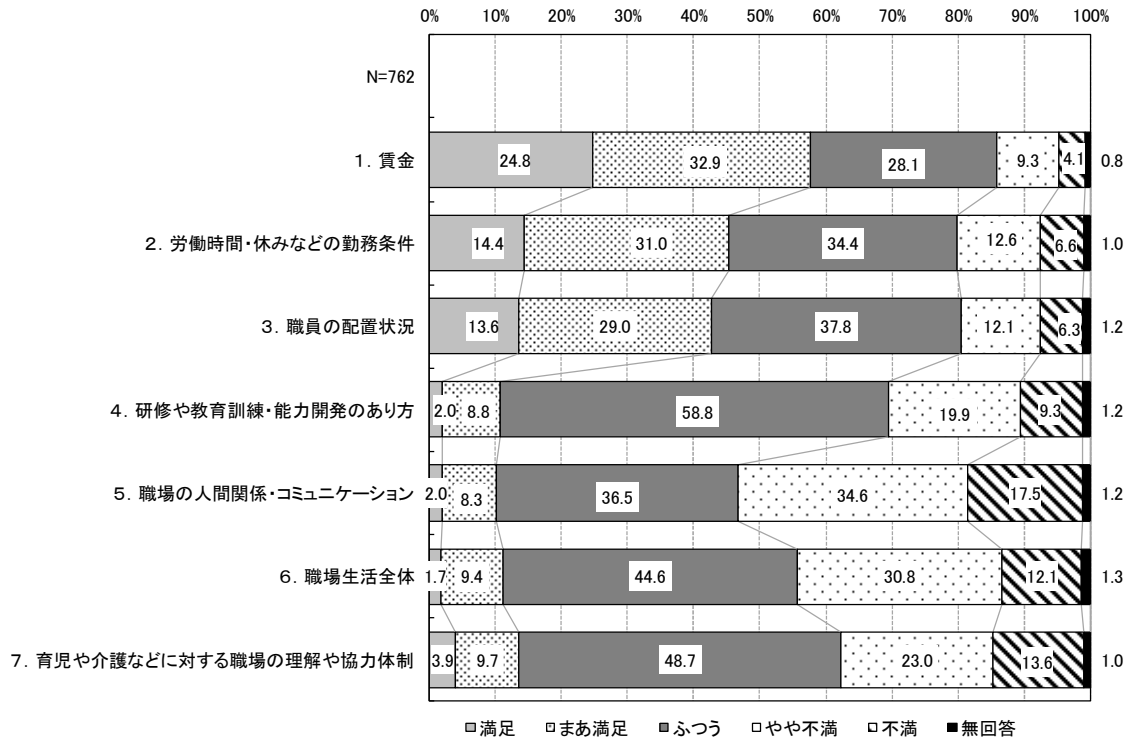
<単数回答>

(園職員調査…問5)



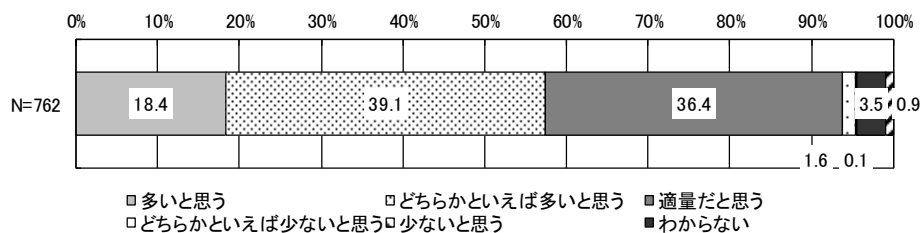
(6) 現在の仕事の満足度についてうかがいます。 <単数回答>

(園職員調査…問6)



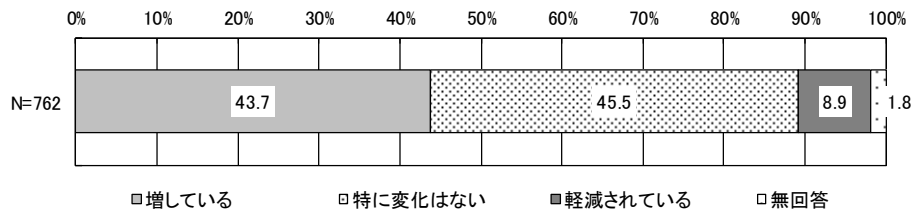
(7) あなたに任された現在の仕事量は適量だと思いますか。 <単数回答>

(園職員調査…問7)



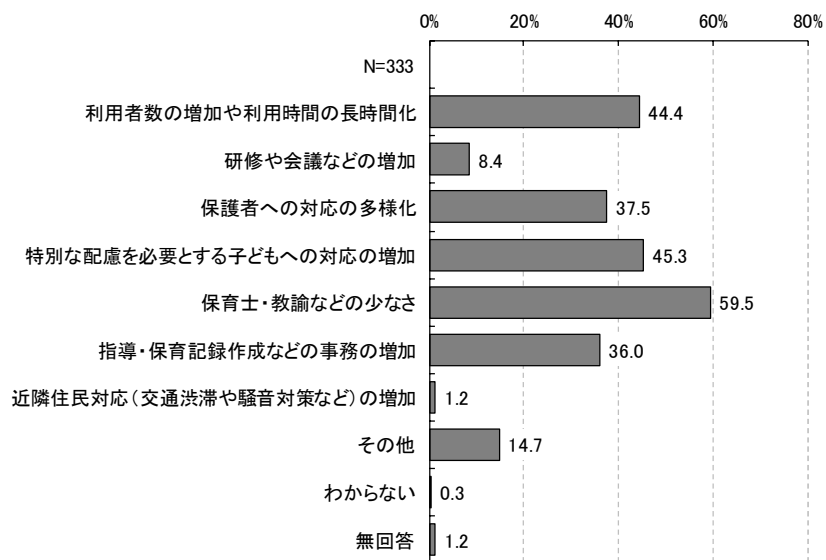
(8) ここ数年の間で、あなたの勤務負担は増えていますか。それとも軽減されていますか。〈単数回答〉

(園職員調査…問8)



(9) 負担が増してきた主な原因は何だと思いますか。〈複数回答〉

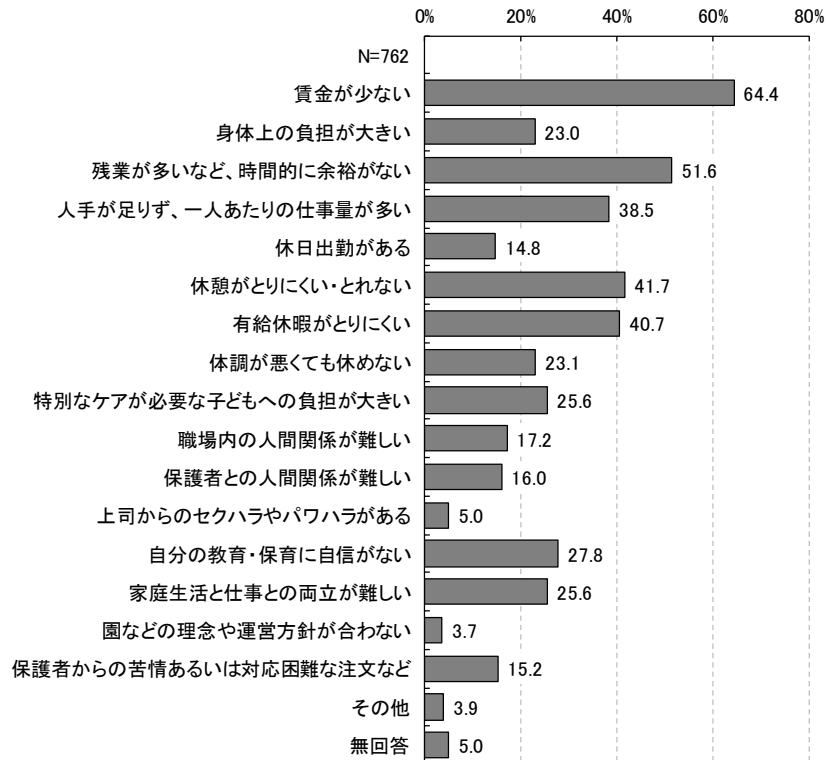
(園職員調査…問8-1)



(10) 労働条件・仕事の負担に関して以下のような悩み・不満などはありますか。

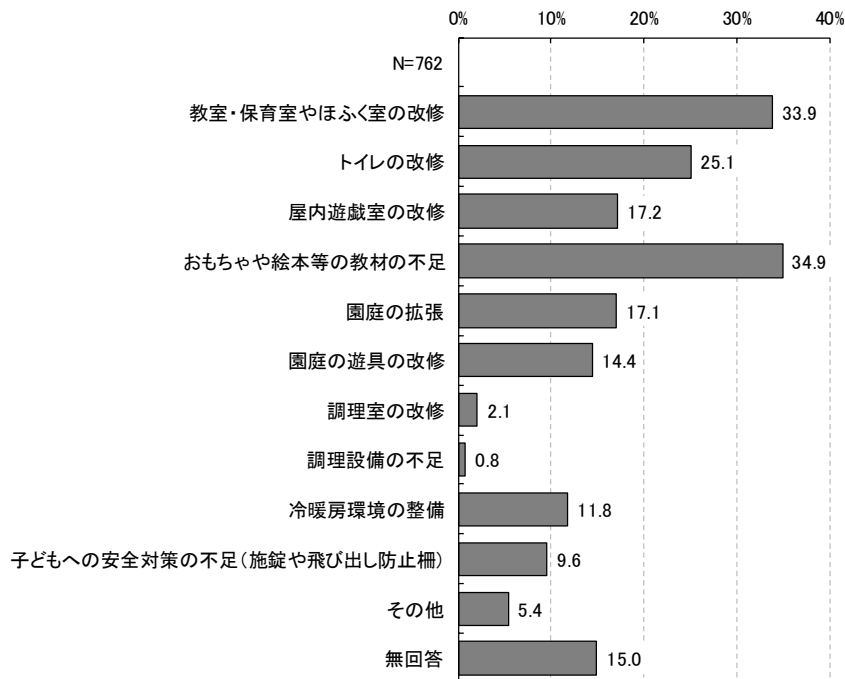
＜複数回答＞

(園職員調査…問9)



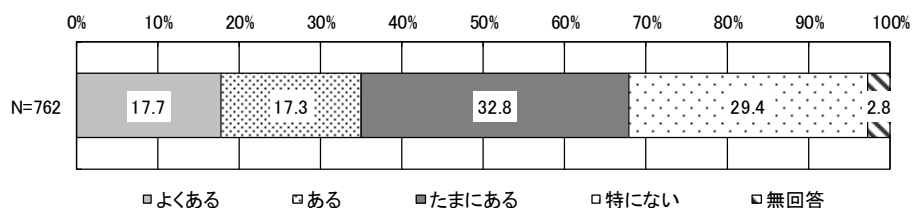
(11) 今の職場・施設について、改善が必要だと思う箇所や不足していると思うことは何ですか。＜複数回答＞

(園職員調査…問10)



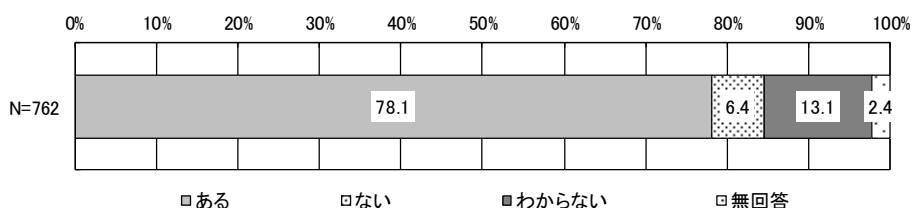
(12) 今の職場・施設をやめる、あるいは、保育園・幼稚園・認定こども園の仕事からの転職を考えたことはありますか。〈単数回答〉

(園職員調査…問 11)



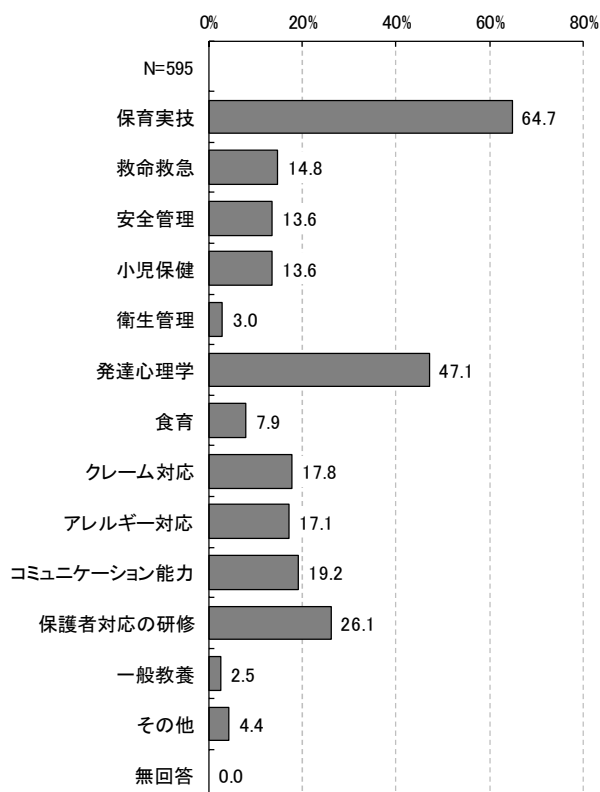
(13) 自分の知識や専門性を高めるため、研修などへの参加意向はありますか。〈単数回答〉

(園職員調査…問 12)



(14) 保育や幼児教育に関する研修では、どのような内容を希望しますか。〈複数回答〉

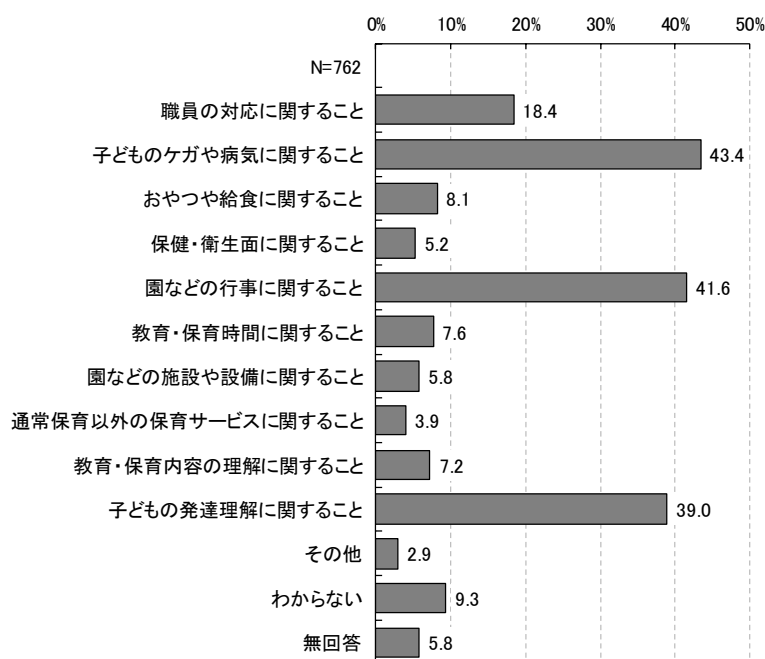
(園職員調査…問 12-1)



3. 保護者などの状況についてうかがいます

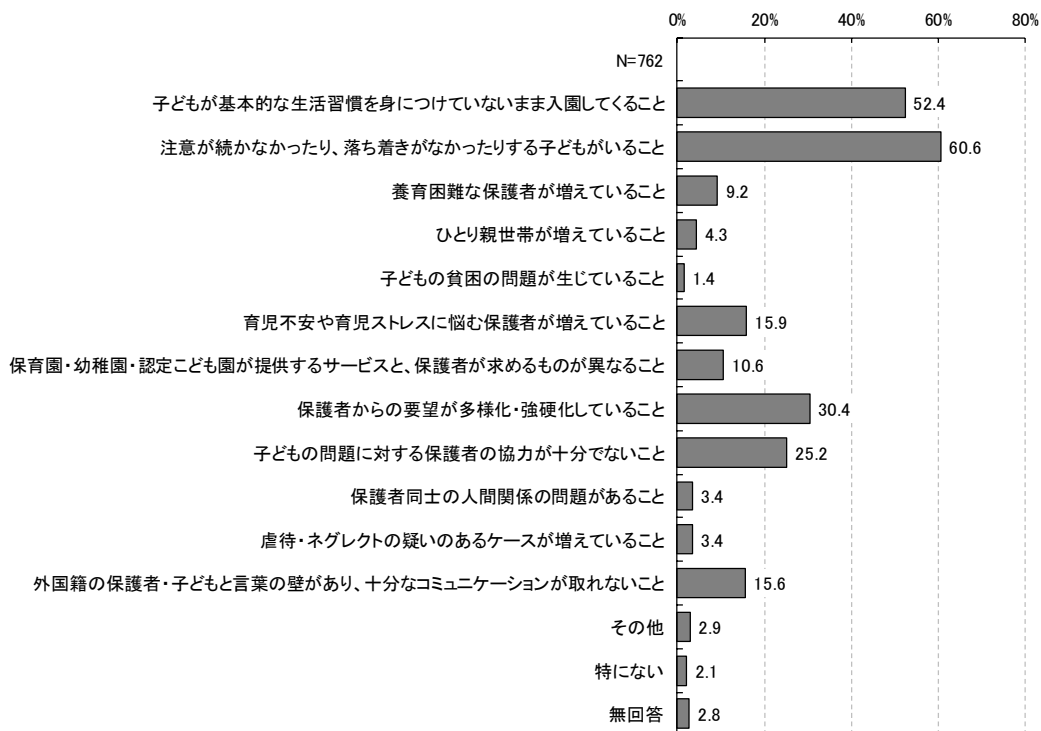
(15) 保護者から寄せられる要望としては、どのようなものが多いですか。〈複数回答〉

(園職員調査…問 13)



(16) 最近の保護者やその子どもにみられる状況について、特に問題だと思うことは何ですか。〈複数回答〉

(園職員調査…問 14)

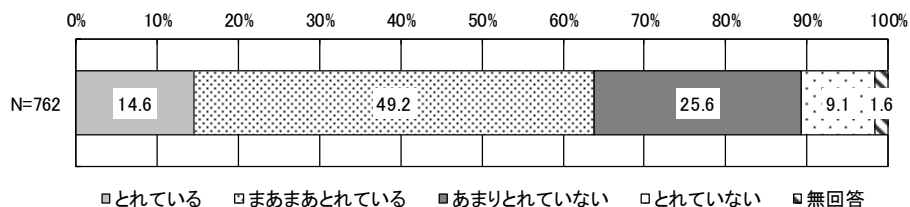


4. ワーク・ライフ・バランスについてうかがいます

(17) 自分の仕事と生活（趣味・家庭生活・余暇など）のバランスはとれていますか。

<単数回答>

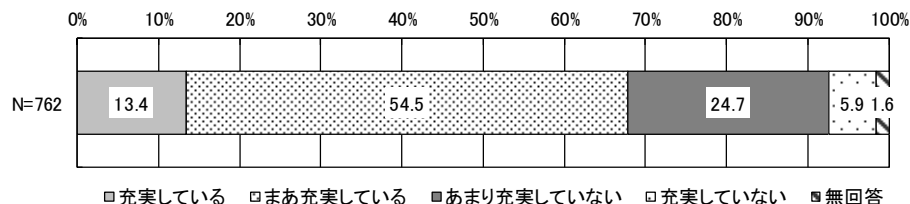
(園職員調査…問 15)



(18) 自分の仕事と生活（趣味・家庭生活・余暇など）は両方充実していますか。

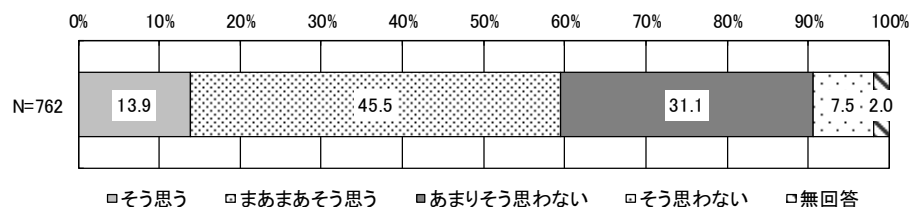
<単数回答>

(園職員調査…問 16)



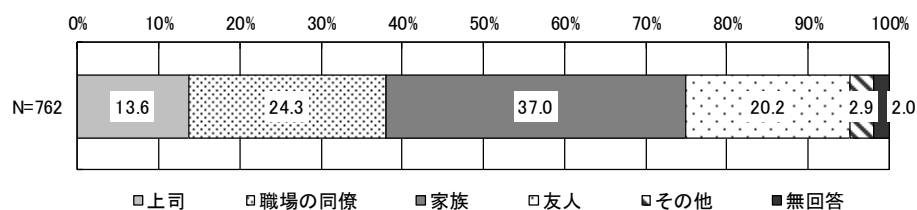
(19) 自分の仕事と生活（趣味・家庭生活・余暇など）は互いに良い影響を及ぼしあっていますか。 <単数回答>

(園職員調査…問 17)



(20) あなたは困ったとき、誰に相談しますか。 <単数回答>

(園職員調査…問 18)



3. 調査結果（事業所）

1. 貴事業所についていかがいます

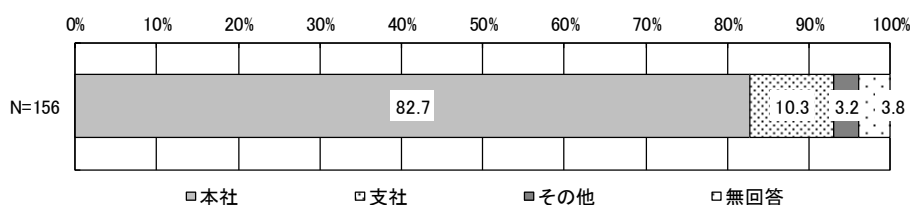
(1) ご記入いただく方の担当部署をご記入ください。〈自由記述〉

(事業所調査…問1)

集計中

(2) 貴事業所の概要についてお答えください。(貴事業所の性格) 〈単数回答〉

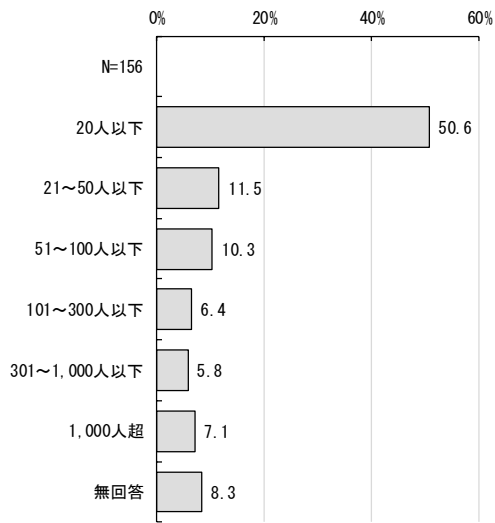
(事業所調査…問2)



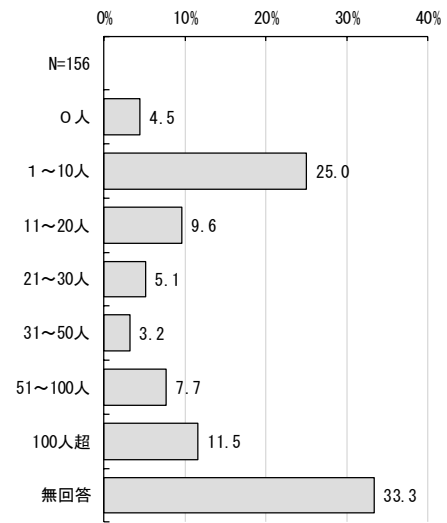
(企業の業種)

選択肢	%
建設業	16.7
製造業	25.0
電気・ガス・熱供給・水道業	3.8
情報通信業	0.6
運輸業	0.6
卸売・小売業	14.7
金融・保険業	2.6
不動産業	2.6
飲食店・宿泊業	2.6
医療・福祉 (社会福祉法人を含む)	6.4
教育・学習支援業 (フィットネスクラブ、教養講座を含む)	1.3
複合サービス業 (郵便局や、農協などの協同組合を含む)	0.6
サービス業	12.2
その他	5.8
無回答	4.5

【従業員数 全社員数】



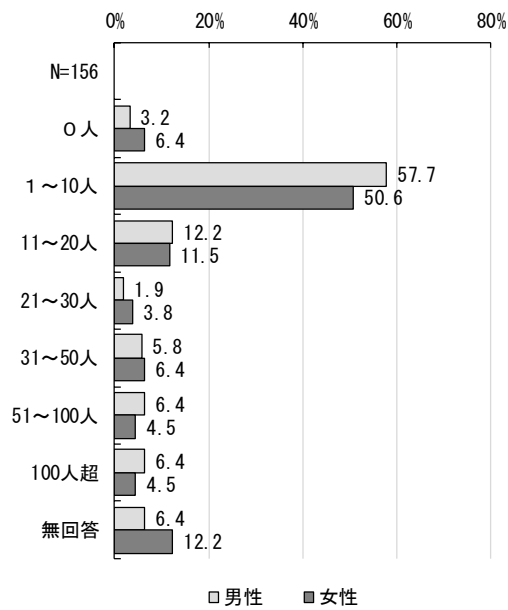
【従業員数 貴事業所（支社）人数】



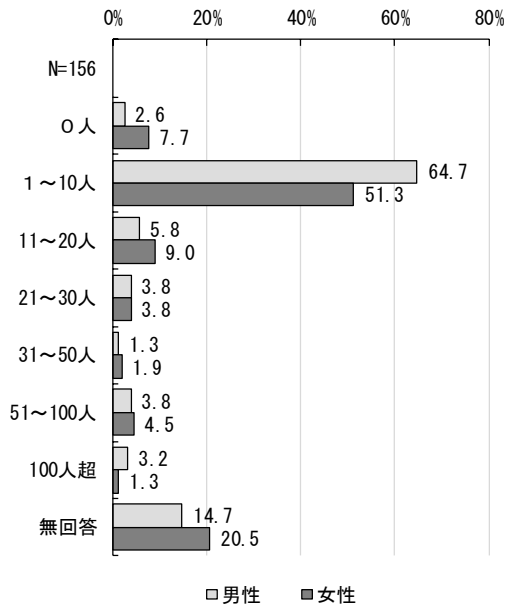
(3) 貴事業所の従業員の状況についてお答えください。〈数量回答〉

(事業所調査…問3)

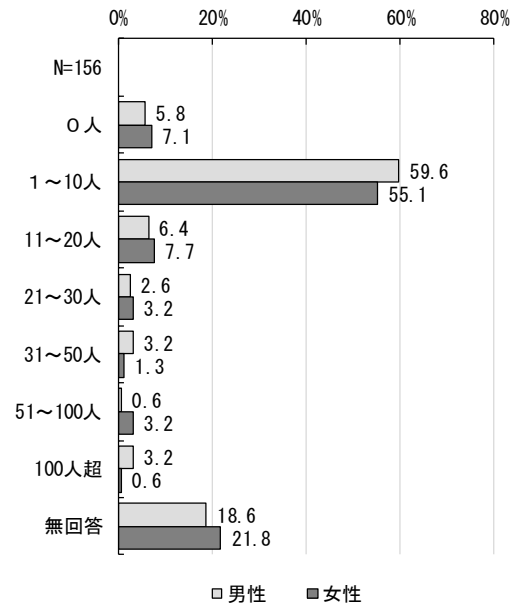
(男女別従業員数)



【従業員のうち配偶者がいる人】



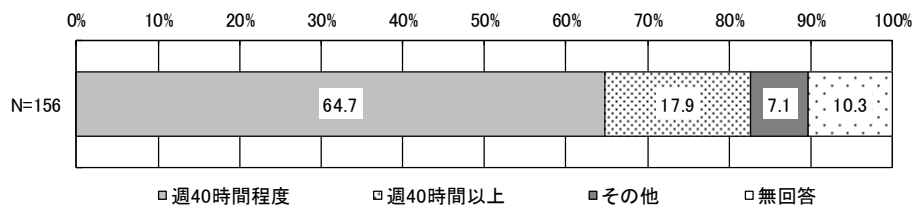
【従業員のうち子どもがいる人】



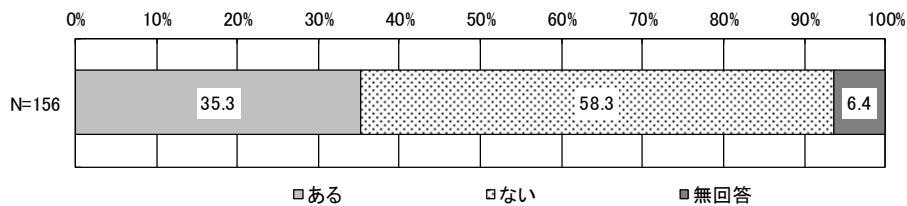
(4) 貴事業所における勤務の状況についてお答えください。〈単数回答〉

(事業所調査…問4)

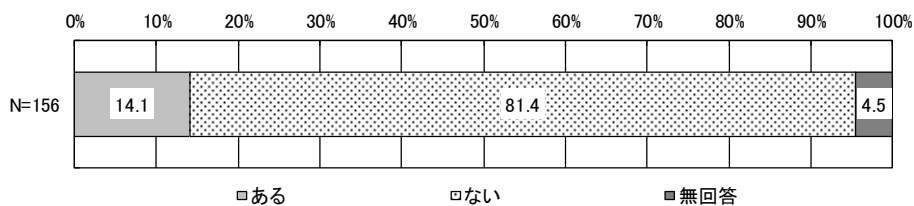
(平均的な就労時間)



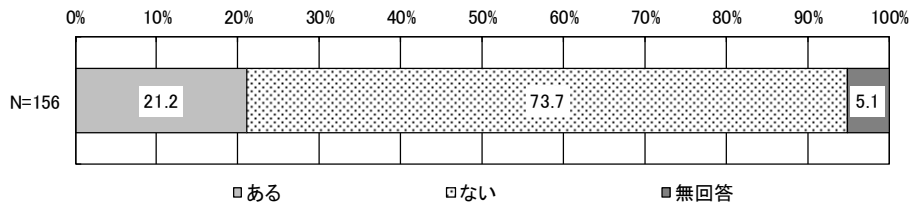
(休日勤務の有無)



(夜間勤務の有無)



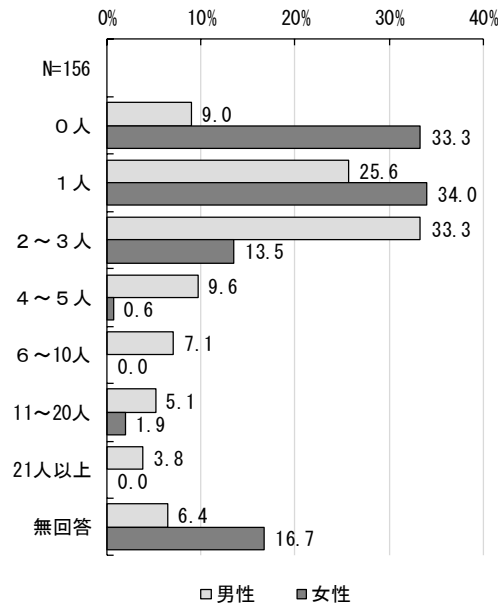
(勤務状況における男女の差)



2. 貴事業所の管理職の状況についてうかがいます

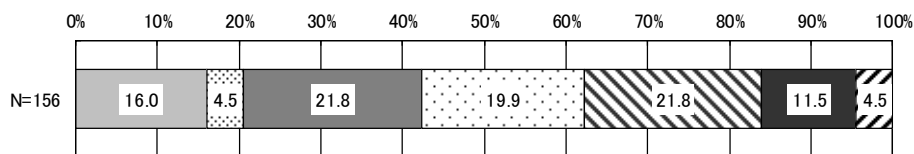
(5) 貴事業所における管理職について、男女別に人数をご記入ください。〈数量回答〉

(事業所調査…問5)



(6) 現在、指導的地位にいる女性の割合を増やすため「ポジティブ・アクション」を国が推進していますが、このような取り組みをご存知ですか。また、貴事業所ではこのような取り組みを行っていますか。〈単数回答〉

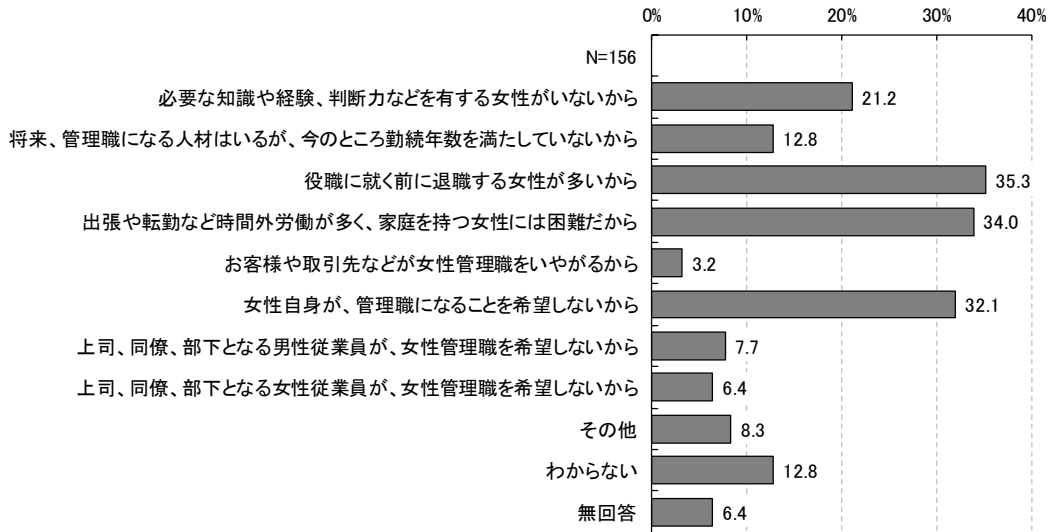
(事業所調査…問6)



- 知っている、実際に取り組んでいる
- 知っている、女性の管理職登用に向けてメンター制度などを積極的に取り組んでいる
- 知っていたが、取り組む予定はない
- 知らなかったが、今後は取り組みたい
- 知らなかったし、今後も取り組む予定はない
- その他
- 無回答

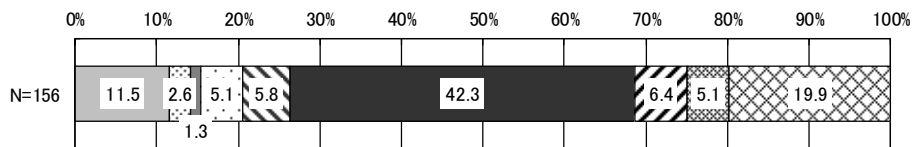
(7) 一般的な傾向として、女性管理職の登用が進まないのは、どのような理由からだと思えますか。〈複数回答〉

(事業所調査…問7)



(8) 101人以上の従業員を雇用する企業は、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立を図るために「一般事業主行動計画」を策定して都道府県労働局に届出、公表、従業員への周知が義務づけられています(100人以下の中小企業は努力義務)。このような中、貴事業所の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。〈単数回答〉

(事業所調査…問8)



- 従業員が101人以上おり、一般事業主行動計画を策定し目標に沿って実施している
- 従業員が101人以上おり、一般事業主行動計画を策定しているが具体的に実施していない
- 従業員が101人以上いるが、一般事業主行動計画を策定していない
- 従業員が100人以下であるが、一般事業主行動計画を策定し目標に沿って実施している
- 従業員が100人以下であり、一般事業主行動計画を策定しているが具体的に実施していない
- 従業員が100人以下であり、一般事業主行動計画を策定していない
- 他部署が対応しているので、よくわからない
- その他
- 無回答

3. 貴事業所の退職・離職・再雇用の状況についてうかがいます

(9) 過去3年間に退職した女性従業員のうち、結婚や出産を理由に退職した従業員は割合程度を占めますか。〈数量回答〉

(事業所調査…問9)

(結婚の場合)

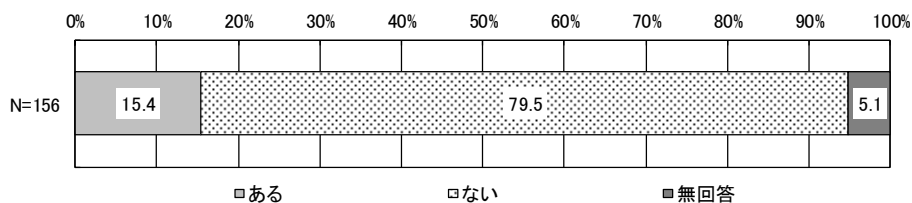
集計中

(出産の場合)

集計中

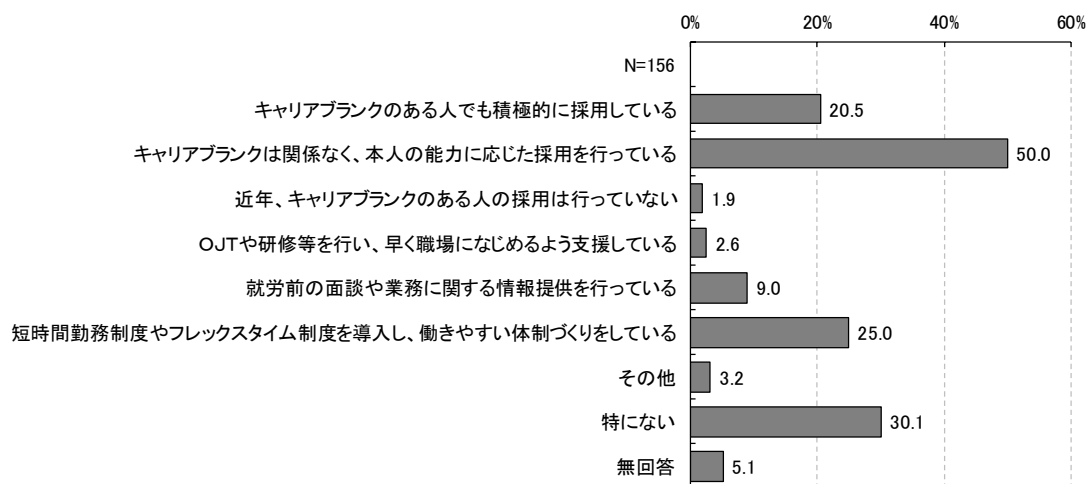
(10) 過去3年間に、結婚や妊娠・出産などで退職した女性を再雇用したことがありますか。〈単数回答〉

(事業所調査…問10)



(11) 結婚や妊娠・出産などによりキャリアブランクのある人材の雇用について、貴事業所ではどのようにお考えですか。〈複数回答〉

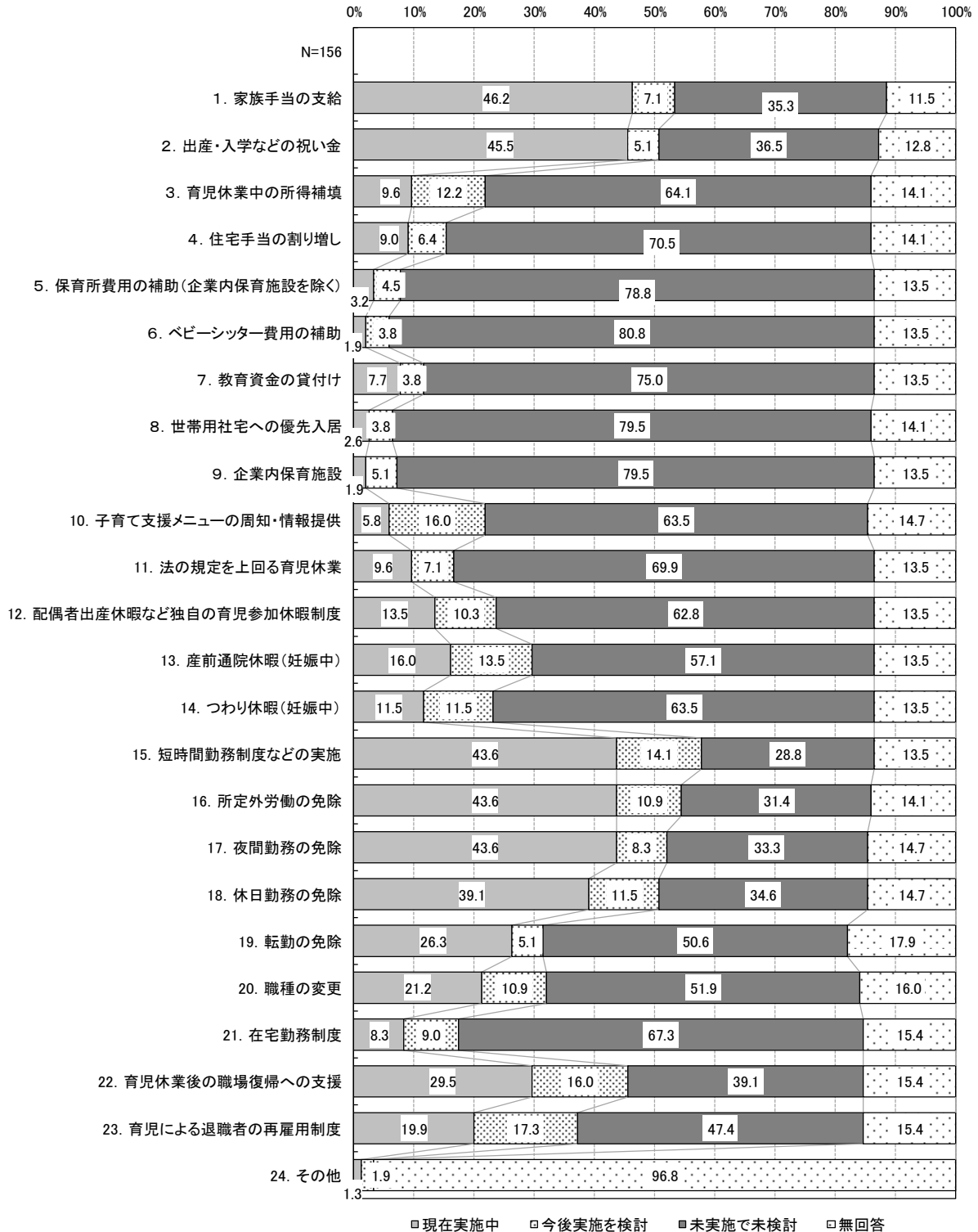
(事業所調査…問11)



4. 仕事や職場の環境についてうかがいます

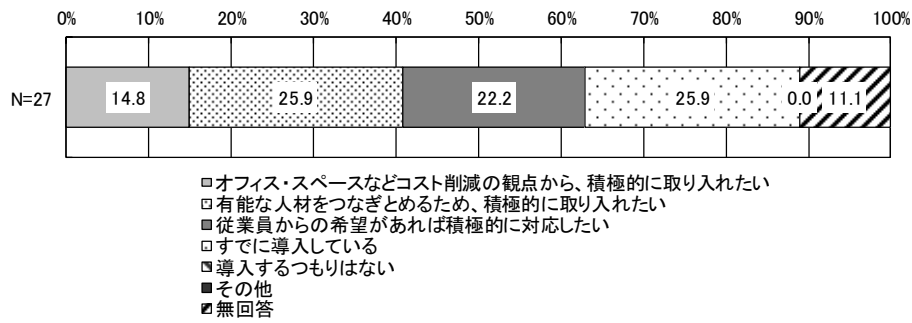
(12) 企業の子育て支援制度について、現在実施されているものと、今後実施されるもの、未実施・未検討の支援策についてお答えください。〈単数回答〉

(事業所調査…問 12)



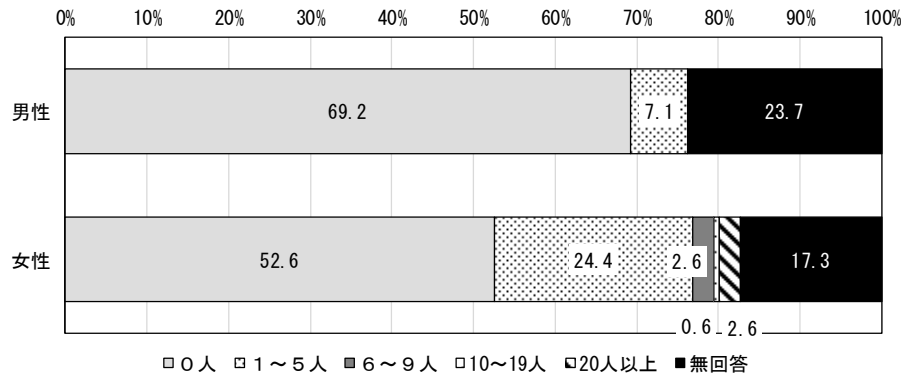
(13) 子育て支援を目的とする在宅勤務制度について、貴事業所ではどのようにお考えですか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 12-1)



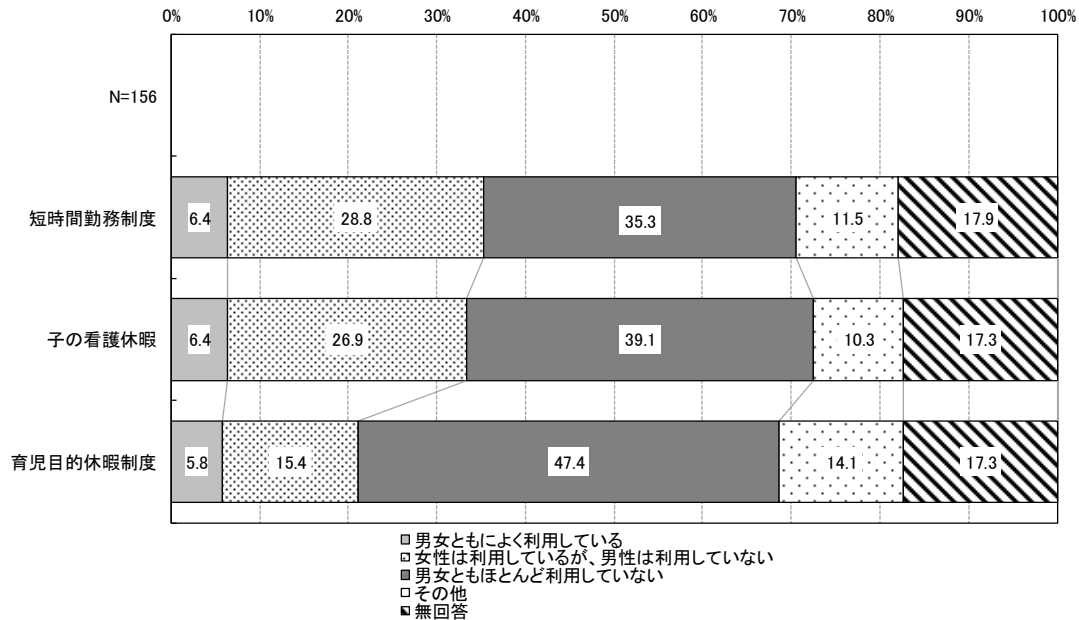
(14) 貴事業所では、従業員の育児休業の取得状況はどうか。

(事業所調査…問 13)



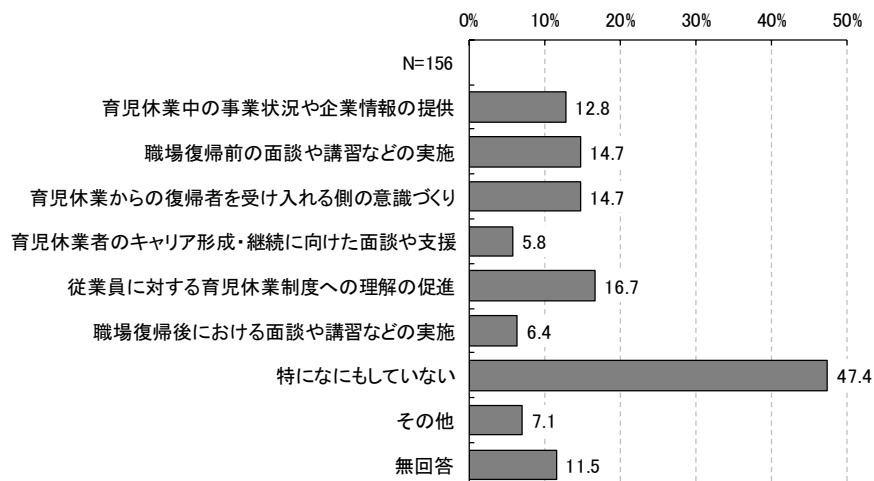
(15) 育児・介護休業法では「3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務制度（1日6時間）を設けることを事業主の義務」とすることや「子の看護休暇制度を拡充」が記載されており、平成29年10月の改正では、「育児休業期間の延長」や「育児目的休暇制度の努力義務の創設」が示されました。貴事業所では、以下(1)～(3)の利用（進捗）状況はどうか。〈単数回答〉

(事業所調査…問14)



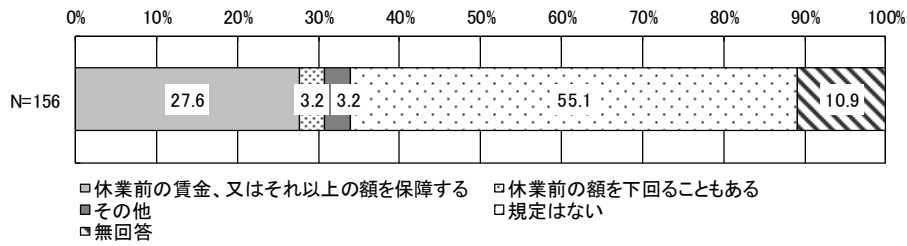
(16) 企業では、育児休業から職場復帰する従業員に対し、復帰支援として取り組まれていることはありますか。〈複数回答〉

(事業所調査…問15)



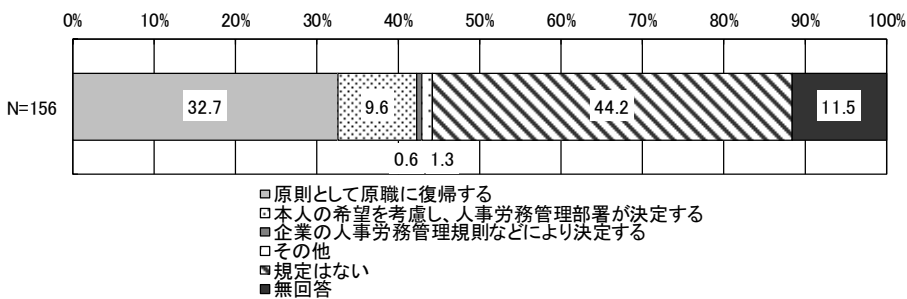
(17) 育児休業を終えて職場に復帰した従業員の賃金の取り扱いについて、就業規則などではどのように規定されていますか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 16)



(18) 育児休業を終えて職場に復帰した従業員の配置について、就業規則などではどのように規定されていますか。〈単数回答〉

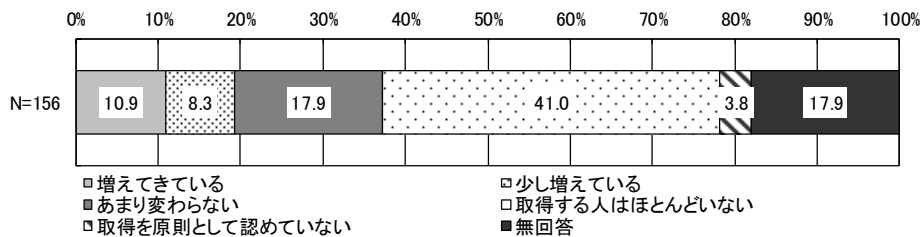
(事業所調査…問 17)



5. 子育て支援についてうかがいます

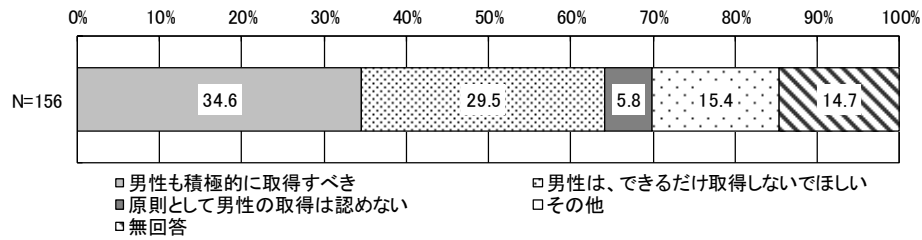
(19) 貴事業所では、ここ5年間において育児休業や育児休暇を取得する人は増えていきますか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 18)



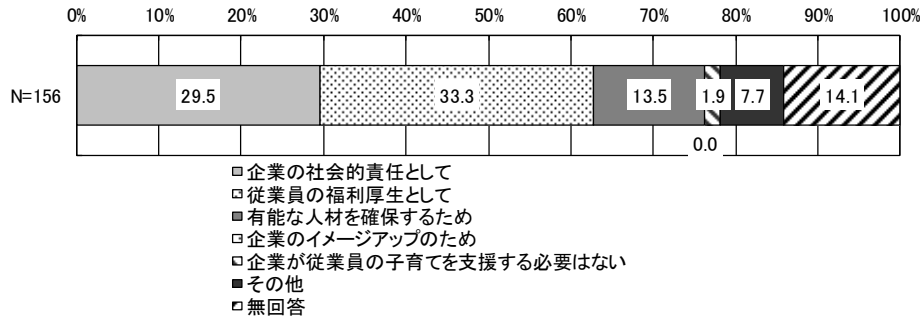
(20) 男性が育児休業や育児休暇を取得することについて、貴事業所ではどのようにお考えですか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 19)



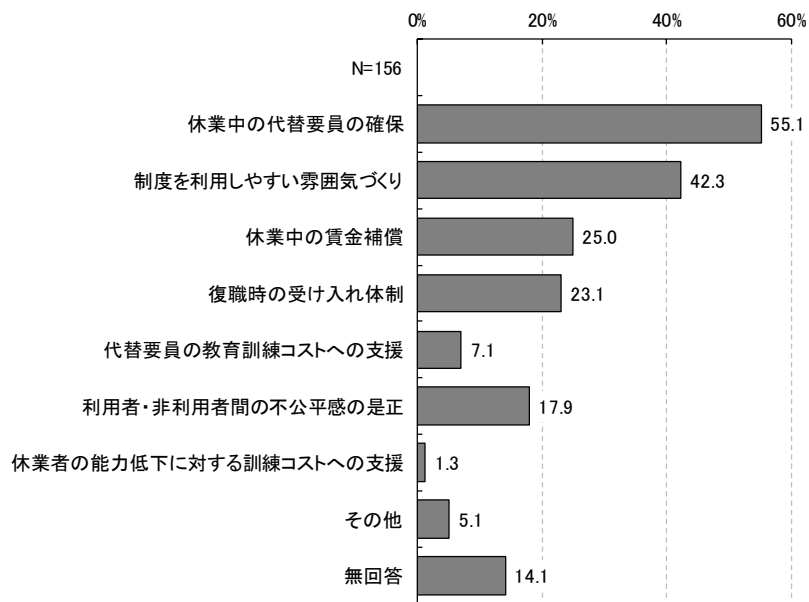
(21) 従業員の子育て支援について、貴事業所ではどのようにお考えですか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 20)



(22) 貴事業所では、育児・介護休業制度を定着させるために特に必要だと思われることはなんですか。〈複数回答〉

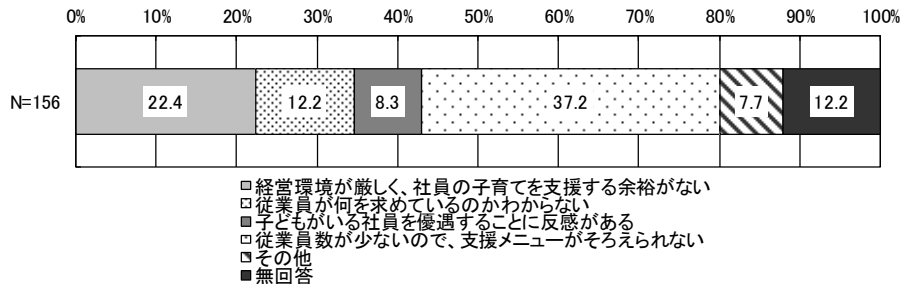
(事業所調査…問 21)



(23) 企業が子育て支援を進めるにあたって、何が問題になるとお考えですか。

<単数回答>

(事業所調査…問 22)

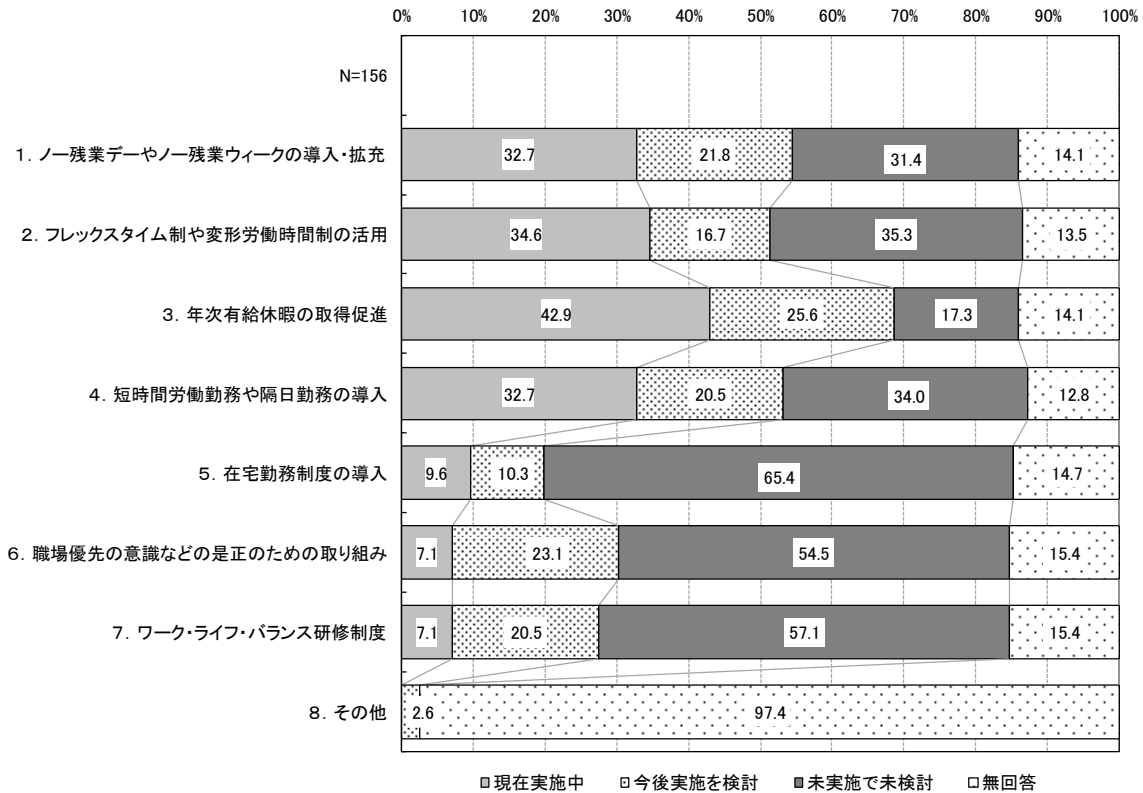


6. ワーク・ライフ・バランスの推進についてうかがいます

(24) 従業員の働き方の見直しについて、企業ではどんなことを実施していますか。

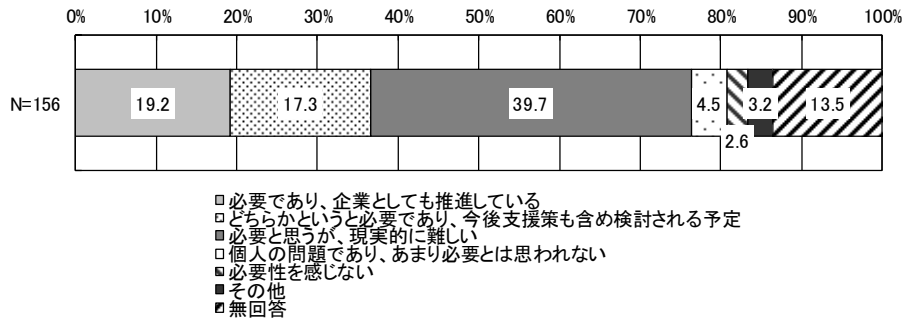
<単数回答>

(事業所調査…問 23)



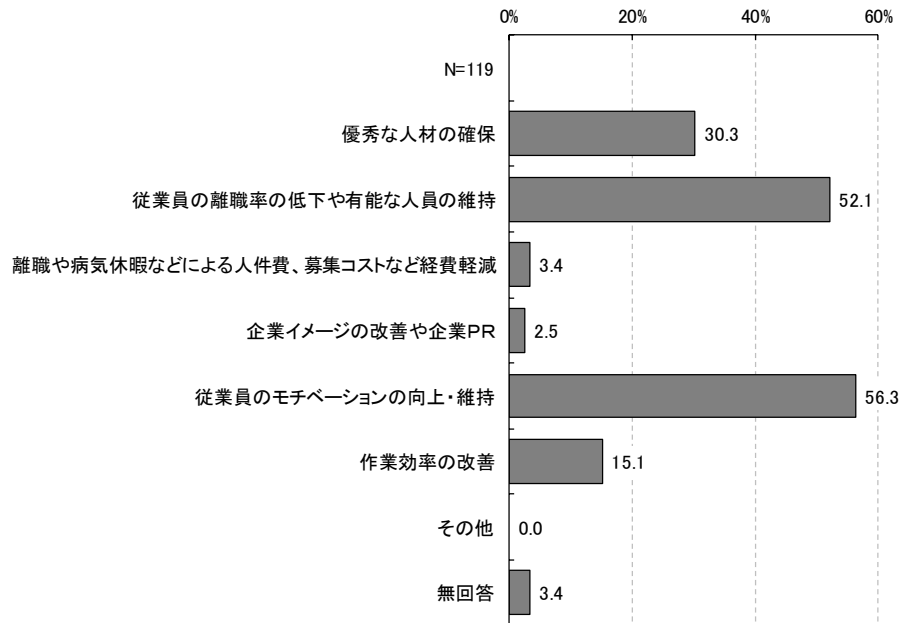
(25) ワーク・ライフ・バランスの推進について、企業における取り組みをどのように思っていますか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 24)



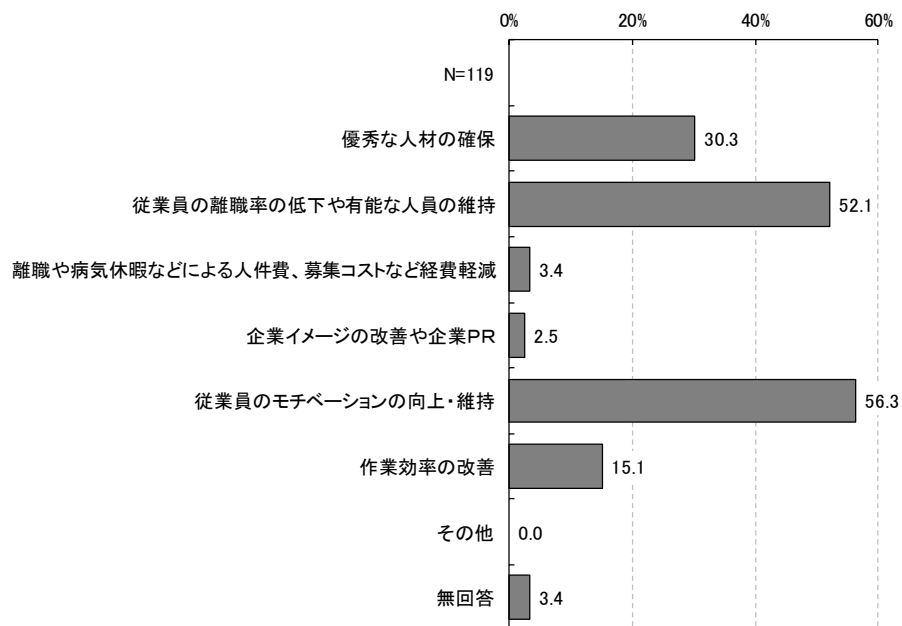
(26) ワーク・ライフ・バランスの推進が必要と考えられる理由は何ですか。〈複数回答〉

(事業所調査…問 24-1)



(27) ワーク・ライフ・バランスの推進において障がいとなりそうなこと、障がいとなっていること。〈複数回答〉

(事業所調査…問 25)



(28) 仕事と家庭の両立について、自治体が特に重点をおいて取り組むべきだと思うこと。〈複数回答〉

(事業所調査…問 26)

